

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事務事業コード	211-202-63
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	社会教育課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	小山 知将
	施策名	1	子どもの保育・教育環境の充実	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金交付要綱				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	● 期間限定 始期 22 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	○ 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	子どもたちが安心して安全に活動できる居場所を設け、地域の方の参画を得て子どもたちとの交流活動等の取り組みを推進する。	事業内容	地域公民館や小学校の空き教室などで、放課後の子どもたちが地域の中で学び、活動する場を提供する(教育活動推進員・教育活動サポーターなどを配置)。		
対象	市内小学校区児童、義務教育学校区(1~6年生)児童				
目指す状態	放課後の子どもたちが安心して安全に活動できる場の確保を図る。また、地域での世代間交流を図り、地域文化を学ぶ機会を設ける。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小学校区児童、義務教育学校区(1~6年生)児童	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																																							
			実績	2,016	1,937	1,844																																																											
説明(算式等)	学校基本調査、新庄市人口ビジョンより	達成率																																																															
活動指標	指標名称	設置場所数(学区)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																																							
			実績	2	2	2					2																																																						
説明(算式等)		達成率	100.0%	100.0%	100.0%																																																												
成果指標	指標名称	参加児童数(延べ)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																							
			実績	1,931	2,380	2,692					2,500																																																						
説明(算式等)		達成率	77.2%	95.2%	107.7%																																																												
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">教室毎の参加者数</th> <th colspan="8">(人)</th> </tr> <tr> <th>教室名</th> <th>対象校</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>萩野公民館放課後子ども教室</td> <td>泉田小学校</td> <td>1,769</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>萩野学園放課後子ども教室</td> <td>萩野学園</td> <td></td> <td>2,060</td> <td>2,364</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本合海小学校放課後子ども教室</td> <td>本合海小学校</td> <td>325</td> <td>320</td> <td>328</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											教室毎の参加者数		(人)								教室名	対象校	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			萩野公民館放課後子ども教室	泉田小学校	1,769									萩野学園放課後子ども教室	萩野学園		2,060	2,364							本合海小学校放課後子ども教室	本合海小学校	325	320	328						
	教室毎の参加者数		(人)																																																														
	教室名	対象校	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																								
	萩野公民館放課後子ども教室	泉田小学校	1,769																																																														
萩野学園放課後子ども教室	萩野学園		2,060	2,364																																																													
本合海小学校放課後子ども教室	本合海小学校	325	320	328																																																													
※平成26年度の萩野公民館放課後子ども教室には、夏休み学習会参加者数は含まれていない。																																																																	
平成28年度の主たる実施内容																																																																	
萩野放課後子ども教室:お菓子づくり、民話語り、新庄まつり囃子、学習会、等 本合海放課後子ども教室:田植え踊り、笹巻づくり、学習会、軽スポーツ、等																																																																	
成果(どのような状態になったか)	萩野学園、本合海小学校において活発な活動ができた。実施地域では、放課後に子どもたちが安心して活動できる場所が確保できたとともに、世代間交流を図ることができた。																																																																

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	848	983	1,089	1,178			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金	263	304	337	392		学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助金(国):3分の1	337
	県支出金	263	304	338	393		山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金(県):3分の1	338
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	322	375	414	393			主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,405	1,405	1,393	1,935			報償費	950
内訳	正規職員(人)	0.18	0.18	0.18	0.25		需用費	39
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		役務費	100
費用合計(①+②)	2,253	2,388	2,482	3,113				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施策展開の「放課後児童対策の充実」に合致する。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	学校及び地域との連携を深めるとともに、各教室の体験メニューを工夫することで、成果の向上が期待できる。
	④成果を下げずに事業費を 削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	子どもの安全を確保するため、最低限の人員配置が必要である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	子どもの安全を確保しつつ、事業を実施していく上で、最低限必要な事業費である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	対象児童の当該学校区で地域に密着して行う必要がある。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	地域の方や各種団体に指導者・サポーターとして参加していただき、事業を実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	放課後の子ども達が安心して安全に活動できる場所を設けるため、国・県・市が一体となり実施している。開催回数やメニューなどは、地域の実情に合わせて実施している。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
基本的には、地域の方々が指導者となり、地域の特長を活かしたメニューを提供している。しかし、指導者が高齢な方もおり、指導者の世代交代を考慮しつつ事業を継続する必要がある。また、子ども達の安全な居場所を確保しつつ、世代間交流をはかることができた。今後も活動を充実させていきたい。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

萩野学園と本合海小学校では、新たなメニューを実施し、活動の充実を図っている。また、指導者も「スポーツ推進員協議会」や「民話の会」などの団体へ依頼を行う等の対応を行い、安心して安全に活動できる場の確保を図るとともに、地域での世代間交流を図り、地域文化を学ぶ機会を設けている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
・地域の方々と連携する上で核となるコーディネーターを地区公民館の館長が担っている。他地域で新規開催するには人材確保が不可欠であることから、実施箇所を拡大することは現段階では難しい。 ・事業の継続性を図るため、指導者の確保に関しては、個人に依頼を行うとともに、組織化している団体に依頼を行う。 ・地域文化の伝承に関しては、地域力の向上が不可欠である。この課題は社会教育課のみでなく、全庁的な課題であるため、課題解決のためには、市役所内の合意形成が必要と思われる。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	本合海小学校での活動について、指導者が高齢化していることから、他地域からの活用も含め、指導者の確保について検討する必要がある。	所属長評価	引き続き、団体や他地域の指導者の確保について検討を行う。また、本合海地域においては伝統文化を継承している団体が他にもあるため、連携を図る。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	家庭教育推進事業			事務事業コード	212-203-63
総合計画	基本目標	2	みんな健康で、笑顔あふれるまち	担当課	社会教育課
	政策名	1	子育て環境を充実し、子どもの健やかな成長を支援する	担当者	鈴木 悠
	施策名	2	家庭における子育てへの支援	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金交付要綱				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	社会教育総務費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	● 期間限定		始期 年度 ~ 終期 32 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	○ 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	核家族化や少子化、社会情勢の変化などにより、家庭における教育力の低下が指摘されている。家庭教育力の向上を図るため学習の場の提供を行う。	事業内容	山形県学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金を受け事業を行う。 小中学校の保護者を対象としてやまがた子育て講座・地域相談室、保育所等の保護者を対象として幼児共育ふれあい広場を開催し、家庭教育について学習する機会を提供する。		
対象	子どもを持つ親等 市内小中学校、義務教育学校、保育所、幼稚園、保育園等の保護者		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
目指す状態	PTA活動等と連携しながら親同士の連携を図り、家庭における教育力の向上を目指す。				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	講義開催希望の学校・施設数(箇所)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	22	22	21					
説明(算式等)			達成率								
活動指標	指標名称	講座の開催(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	16	15	12					18
説明(算式等)			達成率	320.0%	83.3%	66.6%					
成果指標	指標名称	参加者(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	1,503	1,666	864					1,700
説明(算式等)			達成率	501.0%	98.0%	50.8%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
		区分	指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	幼児共育ふれあい広場	実施数	8	8	4						
		参加者数	710	838	600						
やまがた子育て講座	実施数	7	7	8							
	参加者数	793	828	264							
※平成27年度実施の地域相談室は、やまがた子育て講座に含む											
※平成26、27年度は複数の小中学校が合同で学校行事として、やまがた子育て講座を取り入れたため、参加者が多かった											
成果(どのような状態になったか)	事業の継続に伴い、学校や保育所からのニーズが高い。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	251	300	294	336			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金	83	100	98	112		国:3分の1	98
	県支出金	84	100	98	112		県:3分の1	98
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	84	100	98	112			
人件費・・・②	1,405	1,562	1,562	1,780			謝金	178
内訳	正規職員(人)	0.18	0.18	0.18	0.23		需用費	51
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,656	1,862	1,856	1,892				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施策展開の「家庭教育の支援」に合致している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	家庭での教育力向上を目指すことから、保護者や祖父母などを対象としており、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	開催箇所数の増加を図ることにより、向上の余地はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	講座を実施するために最低限必要な金額である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	最小限度の人員配置である。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	家庭教育に関する講座やその周知など、他自治体と連携して実施していくことは可能である。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	講座開催にあたっては、公立小・中学校や公立保育所のほか、私立保育園・幼稚園の協力を得て実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	家庭での教育力の低下しているといわれる中で、開催場所の希望に応じた実施時期、講師選定を行っており、地域の課題にあわせた事業となっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
アンケートによると参加者の満足度も高く、毎年、幼児共育ふれあい広場、子育て講座を実施している学校・保育園等もある。継続して実施することで、家庭教育の効果が上がっていくと考えられる。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

学校・保育園などとの連携が必要であるため年度始めに学校・保育園に実施の案内を行うと同時に、ニーズの把握を行う予定。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
事前の需要調査で実施予定との回答を得ても、実施に至らない学校や保育園などもある。希望があった学校・保育園等で講座を実施できるよう連携する必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	需要調査時など、他団体で実施した事業を提供するなど、未実施団体への周知を工夫する必要がある。	所属長評価	需要調査時に、他団体で実施した事業を提供するなど、未実施団体への周知を工夫する必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	「山大エリアキャンパスもがみ」運営事業[フィールドワーク事業]			事務事業コード	312-301-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	1	夢を持ち、元気で才能豊かな、いのち輝く新庄っ子を育成する	担当者	小山 知将
	施策名	2	地域に根ざした学校教育の充実	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款1項3目	山形大学エリアキャンパスもがみ支援事業費	予算コード	01-100103-1300
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 17 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	高等教育機関のない最上地域に大学の機能を誘致し、地域住民と教員・学生が交流することによって地域の活性化を図る	事業内容	山形大学と連携し、地域そのものを大学のキャンパスに見立て、新庄市特有の歴史や文化等を活用した特色あるプログラムを学生に提供する。		
対象	山形大学生を受け入れる地域の指導者並びに子ども達				
目指す状態	フィールドワークを通して、山形大学生には、新庄市の歴史や文化等を学んでもらい、地域住民には、学生との交流を深めてもらう。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	フィールドワーク受け入れ団体等	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	7	7	6				
説明(算式等)	達成率									
活動指標	指標名称	フィールドワーク受け入れ人数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	73	68	56				
説明(算式等)	達成率		146.0%	136.0%	80.0%					
成果指標	指標名称	フィールドワークプログラム数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	7	7	6				
説明(算式等)	達成率		100.0%	100.0%	85.7%					

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

補足説明	【H28フィールドワーク実施プログラム】					
	前期	プログラム名	参加学生数	受入団体		主な実施内容
		①	新庄まつり	12人	新庄山車連盟	
後期	②	東山焼き	11人	東山焼き		学生による東山焼き作品創作
	③	地域資源(山屋)	10人	山屋地区有志の会		山大学生による山屋地区活性化の提言を実施
	④	図書館	10人	かやのみ会		kitoktioマルシェにおいて山大学生企画を実施
後期	⑤	七所明神	7人	七所明神の環境を良くする会		御祭燈祭の開催補助
	⑥	民俗文化(隠明寺風と昔かたり)	6人	隠明寺風保存会		隠明寺風製作、昔語り実施

成果(どのような状態になったか) 新庄市の特色ある6つのプログラムを学生に提供し、指導者である地域住民と大いに交流することができた。また、交流を通して、学生の目線による新たな提言等もいただいた。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	278	264	200	279			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	278	264	200	279			主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,405	1,484	1,471	2,167					
内訳	正規職員(人)	0.18	0.19	0.19	0.28			謝金	192
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			使用料及び賃金(スクールバス)	8
費用合計(①+②)	1,683	1,748	1,671	2,446					
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	大学生が新庄市で活動することで地域の交流意識が高まっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地域住民と学生との交流が、地域活動の活性化に結びついている。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	プログラム内容に修正を加えていくなど、さらなる成果向上の余地あはある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業のほとんどが謝金であり、フィールドワーク受入団体については、材料や経費がかかるため、今でも謝金が十分でなく、これ以上の削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	土日実施の事業であり、職員は時間外対応となるが改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	最上地域8市町村それぞれが独自色を出して実施している事業であるため、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	山形大学、市町村、地元講師とそれぞれの役割を分担し、実施している事業であるためできている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域にあったプログラム内容を地域で構築している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
事業開始から10年目を迎え、開所当初から長年継続されてきたプログラムやスタートして間もないプログラムなど、プログラムごとに実績や内容が違うため、それぞれの実施状況を検証しながら継続していく必要がある。 また、高等教育機関のない新庄においては、大学生と交流できる機会は貴重であり、この機会を活かし、継続して地域と大学生が交流できるしかけが必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

新庄市外の視点で「新庄市」についての意見を聞ける機会は貴重であり、高齢化が進む本市においては、大学生と地域が繋がれる貴重な機会となっている。そのため、終了したプログラムの代案を作成中である。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
プログラムを終了した後も地域と大学生が接触できるよう、大学生と地域の方々の連絡先交換(名刺交換等)を促す。 また、貴重な機会であるため、上限の7プログラムとなるようにプログラム内容を考査する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	地域、学生ともに充実した内容となるよう、検証しながら取り組んでいく必要がある。	所属長評価	地域・大学・行政が協働で行う事業であるとともに、高等教育機関の学生が新庄市に訪れ、地域の方との関係性を築く機会であるため、継続性や連続性を考慮に入れたプログラム作りを行う必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名		国際理解推進事業				事務事業コード	321-101-63	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち				担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る				担当者	鈴木 悠
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進				内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業				評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業		
法令根拠								
条例・要綱等								
予算・事務事業名		一般会計	10款4項2目	市民プラザ管理事業費			予算コード	01-100402-0200
○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業) ○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで) ● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)								

2. 事務事業の概要

目的	世界にはさまざまな民族や文化、宗教、価値観があることを理解し、多文化共生の理念を育む。	事業内容	・日本語教室の開催 ・交流会(特別講座)			
対象	市民、在住外国人					
目指す状態	在住外国人の日本語理解を進めることにより地域社会への参加を促し、市民と在住外国人が国籍や文化を超えて交流する場の提供を行う。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	外国人登録者数	年度								H32見込
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	実績		328	302	276	311					
	達成率										
活動指標	指標名称	日本語教室参加(登録)者数(人)	年度								H32計画
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	実績		12	16	16						20
	達成率		30.0%	80.0%	80.0%						
成果指標	指標名称	交流事業(延)参加者数(人)	年度								H32目標
			H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	実績		25	17	10						25
	達成率		62.5%	68.0%	40.0%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	新庄市在住外国人登録者数と受講者数										
		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	登録者数	328	302	276	311						
	受講者数	12	16	16							
参加率(%)	3.7	5.3	5.6								
成果(どのような状態になったか)	全体的に参加者は少ないが、通年制としたことで、安定して開催できた。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	0	0	0	0			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						指定管理料に含む	
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0			主な歳出の内訳	
人件費 … ②	468	468	464	696				
内訳	正規職員(人)	0.06	0.06	0.06	0.09			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	468	468	464	696				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施策の「生涯にわたる学びの推進」に合致している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	国際理解を推進する上で、概ね適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	内容や周知次第で成果の向上の余地はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	講師謝金と教材費を賄うために最低限必要である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	委託先との調整や広報などに最低限必要な人員である。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	他自治体と連携し、講座の開催をすることは可能である。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	交流会(特別講座)で、陶芸を取り入れる等、地域の方に指導していただき実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input checked="" type="radio"/> なっていない <input type="radio"/> なっている	在住外国人の地域社会への参加を促すために日本語理解を進めることは必要である。加えて特別講座は、新庄の文化に親しむ機会ともなっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
中級～上級コースでは、開催後のコース変更者があるなど昨年より参加者数は減ったが、その分、受講者の理解度に合わせたきめ細かい授業となった。初級～中級コースでは、運転免許がない、子どもを預ける人がいないなど、家庭の事業によって欠席が多いコースではあるが、意欲的な受講生が多いので、継続していくためにも受講生を増やしていきたい。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

周知の方法、教室の内容について検討している。また、日本語教室だけでなく、日本文化や新庄の文化に親しめる特別授業も行っている。
--

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
対象者の在住環境と関係するため難しいが、参加しやすい教室の開催を検討する必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	参加者の協力による日本語以外でのチラシの作成など、周知について工夫する必要がある。	所属長評価	参加者の協力による日本語以外でのチラシの作成など、周知について工夫する必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市民プラザ管理事業			事務事業コード	321-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	長沢祐二
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項2目	市民プラザ管理事業費	予算コード	01-100402-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 21 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	本市における生涯学習の推進並びに市民の生活文化の振興及び社会福祉の増進を図る。	事業内容	指定管理者制度を活用し、日本語教室や県美展など教育委員会からの委託事業やプラザまつり、ゆめの根っこ塾など、さまざまな自主事業を実施する。
対象	市民		また、350人収容できる大ホールや130人収容できる小ホールをはじめ研修室や音楽室、実習室など幅広いニーズに対応した各施設の貸館をしているため、安全で快適な利用ができるように、施設の維持管理を行う。
目指す状態	市民がいろいろな分野で自発的に生涯学習を行えるように、施設環境を管理整備し生涯学習への興味ときっかけづくりを行うための施設として活用する。		実施形態
			<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	121,114	108,381	115,804				
説明(算式等)			達成率							
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	27	20	25				40
説明(算式等)			達成率	67.5%	50.0%	62.5%				
成果指標	指標名称	自主事業の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	1,930	2,034	2,299				2,000
説明(算式等)			達成率	96.5%	101.7%	115.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
		【H27に実施した自主事業】								
		①キッズフェスタ ②因幡晃コンサート ③料理教室 ④陶芸工房 ⑤子どもいけばな教室 など								
	【H28に実施した自主事業】									
	①キッズフェスタ ②レディオサイエンスコンサート ③プラザ名画座 ④山響コンサート(2回) ⑤料理教室 ⑥陶芸工房 ⑦生け花教室 ⑧手芸教室 ⑨園芸講座									
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	38,026	40,356	36,990	41,299			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	38,026	40,356	36,990	41,299			主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,093	1,015	1,006	929			修繕料	7,715
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12		手数料	6
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		指定管理委託料	31,532
費用合計(①+②)	39,119	41,371	37,996	42,228			備品購入費	42
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各種事業の実施により広く市民の生活文化の振興につながった
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input type="radio"/> 適切である <input checked="" type="radio"/> 見直しの余地がある	施設利用者だけでなく広く市民に生涯学習の推進と文化芸術への興味を展開するための事業計画が必要
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	生涯学習の推進を基盤として多目的に施設の利用率の向上につなげる(条例の見直しを検討)
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	施設の多目的な利用を行うことで効率的に稼働率を上げることで収入の増加を図る(条例の見直しを検討)
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員を配置している
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	定住自立圏による連携事業で取り組めないか
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	現在の指定管理者制度だけでなく設備維持更新などについても官民連携事業の検討を行う
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	生涯学習センターとしての機能は果たしているが空き時間の有効活用に向けた検討が必要である



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の利用率や利用人数の向上だけを主眼とせず、施設の持続性を再検討する。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

「公共施設総合管理計画」などの考え方を踏まえ施設の管理活用方針を検討する

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
「市民への生涯学習の推進」を主目的とし、さらに施設を有効に活用する事の再検討を行い、空き室の有効活用として多目的な利用に向けた検討を進める。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	今後も利用者の声を積極的に収集し、施設運営につなげていく必要がある。	所属長評価	利用者の声を積極的に収集するとともに、公共施設総合管理計画を踏まえた持続可能な施設運営に努める。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 基本目標, 担当課, 政策名, 担当者, 施策名, 内線, 事業区分, 評価区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 予算コード, 事業期間. Includes details for '図書館管理事業' with codes 321-202-63 and 01-100404-0200.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 目指す. Includes '事業内容' and '実施形態' sections detailing library management and service goals.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32見込. Includes '対象指標' (利用者数), '活動指標' (貸出冊数), '成果指標' (図書館の貸出人数), and '補足説明' (Main activities for H27 and H28).

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns for years H26-H31. Includes '事業費' (43,086 in H26), '人件費' (1,093 in H26), and '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	利用者のニーズに応えた新刊圖書の購入や、各種の事業により市民の読書意欲の喚起が図られた。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	来館者のみならず各種事業により多くの市民に対して図書館サービスの提供が出来た。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	他の施設や他の分野の事業とも連携を行い新たな事業展開を検討する
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	定住自立圏の地域連携などによる可能性の検討を行う。 企業と連携した収益事業を考える。(条例のみ直しも検討)
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員は配置されている
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	定住自立圏の地域連携などによる可能性の検討を行う
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	指定管理者制度だけでなく設備維持更新等にかかる官民連携事業の検討を行う。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	図書館の設置目的にあった事業展開をしている



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
数多くの事業により市民の読書意欲の喚起が図られたが、施設駐車場スペースと屋根の落雪防止対策が未解決である

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

課題解決策の最善方法を検討し費用の算出を行う。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
施設周辺スペースの活用や借り上げ、落雪防止対策を実施する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	図書館が中心となり、「新庄市読書推進計画」を進めていく必要がある。	所属長評価	施設課題の早期解決を進めるとともに図書館サービスの充実を図り、施設維持の持続性に向けた検討が必要。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事務事業コード, 担当課, 担当者, 内線, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '雪の里情報館管理事業'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Includes '雪害救済運動発祥の地としての業績を永く未来につたえらるとともに、雪及び雪国文化に関する学習、研究の場の提供や雪国他地域との交流などを積極的にすすめる、雪のふるさとづくりの推進を目的とする。' and implementation options like '市直営', '全部委託', etc.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32見込. Includes '指標名称', '利用者数(人)', '施設稼働率(%)', 'ギャラリー展示室の利用者数'. Includes a '補足説明' section with exhibition details for H27 and H28.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 8 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, 事業費の算出根拠(H28). Includes '事業費', '内訳', '費用合計', and '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	雪セミナーなどを開催し地域文化の継承や発見に結びついている
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	雪及び雪国文化に関する学習、研究の場を提供しており適切である
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	展示室のリニューアルや登録文化財としての活用による効果を図る。 また、雪に関する新しい取り組みの発信する。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	多目的な活用による利用率向上を図る。 企業との連携の可能性も検討する。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員は配置されている。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	雪に関連する他自治体(県内外)との連携も検討する。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	雪に関する企業などとの協働の可能性を検討する。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	過去の雪文化の発信だけでなくこれからの先進的な雪との関わりについても 発信していく。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
利用者数、施設稼働率が減少傾向にある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

文化財の保存活用計画の策定と改修計画の策定を予定。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
登録文化財としての活用と合わせた展示室のリニューアルを図る必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	文化財の登録を受け、映像でのPR等、積極的な情報提供を検討すべきである。また、地域住民の積極的な利用にも取り組む必要がある。	所属長評価	文化財保存活用計画の早期策定を進め、「雪」に関する情報の発信拠点として効果的な利用を検討する。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	わくわく新庄管理事業			事務事業コード	321-204-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	長沢祐二
	施策名	1	生涯にわたる学びの推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項10目	わくわく新庄運営事業費	予算コード	01-100410-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 18 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	本市における生涯学習の推進及び市民の生活文化の振興並びに社会福祉の増進を図る。	事業内容	指定管理者制度を活用し、フェスティバルや卓球大会、デジカメ教室など幅広い事業を展開する。また、多目的ホール(300名)や音楽室、実習室や会議室などを活用し市民活動の拠点として運営する。		
対象	市民				
目指す状態	本市の生涯学習を振興するために、活動の場としての提供、並びに安全で使い易い施設を目指し維持管理する。				
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	51,493	51,845	52,006				
説明(算式等)			達成率							
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	46	47	47				
説明(算式等)			達成率	115.0%	117.5%	117.5%				
成果指標	指標名称	自主事業の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	4,795	4,788	5,064				
説明(算式等)			達成率	95.9%	95.8%	101.3%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【H27に実施した自主事業】									
	①わくわくフェスティバル ②ラージボール卓球大会 ③デジカメ教室 ④新庄歴史さんぽ ⑤坐禅会 ⑥セルフリンパマッサージ ⑦筆体験 ⑧懐かしのレコードを聴く会 ⑨そば打ち体験教室									
補足説明	【H28に実施した自主事業】									
	①わくわくフェスティバル ②ラージボール卓球大会 ③デジカメ教室 ④新庄歴史さんぽ ⑤坐禅会 ⑥セルフリンパマッサージ ⑦リース手作り教室 ⑧座禅×ヨガ体験会 ⑨そば打ち体験教室 ⑩星空写真教室⑪夏休み親子教室 ⑫詩吟体験教室									
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	17,889	58,211	17,550	16,823			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	17,889	58,211	17,550	16,823			主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,093	1,015	1,006	929			修繕料	531
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12		指定管理委託料	16,941
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	18,982	59,226	18,556	17,752				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	自主事業の他、各種事業の開催により生涯学習の推進に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	開催事業の増加もあり市民の生涯学習の振興に効果がある。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	利用者数の増加もあり成果の向上も見られるが施設稼働率に余裕はある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	施設稼働率の余裕部分の多目的利用による収入増加を検討する。 (条例の見直しも検討)
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度により必要な人員は配置されている
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	定住自立圏の地域間連携の可能性を検討。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理制度だけでなく設備維持更新等の官民連携事業も検討する。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	空き時間の有効活用(多目的活用)の検討を行う



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
利用件数、稼働率ともに前年度を上回った。今後の空き時間の有効活用と持続可能な施設維持を図る。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

施設利用状況の分析と稼働率向上の可能性調査を行う。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
空き時間の多目的利用の方法の検討を行っていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	利用者及び地域のニーズを積極的に取り入れた事業展開を検討する必要がある。	所属長評価	施設の持続可能な管理運営方法の検討を行う必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	地区公民館管理事業			事務事業コード	322-101-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	東海林美紀
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	社会教育法第24条				
条例・要綱等	新庄市公民館設置及び管理に関する条例・新庄市公民館設置及び管理に関する条例施行規則				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項3目	地区公民館運営事業費	予算コード	01-100403-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 40 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	生涯学習の場としての施設環境を管理整備し、市民が利用しやすいようにする。	事業内容	施設の状態を学習の場に適するように人員を配置し、メンテナンスを定期的に実施。
対象	市民(地区の住民が大半を占めている)		・萩野地区公民館 ・八向地区公民館 ・角沢ふれあい交流広場
目指す状態	市民がいろいろな場面で自発的に生涯学習を行えるように、学習の場としての施設環境を管理整備する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	地区住民数(萩野・八向地区)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																																																																		
			実績				6,841																																																																																					
説明(算式等)	4月1日現在 行政区年齢別人口(総合政策)	達成率																																																																																										
活動指標	指標名称	利用団体数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																																																																		
			実績	901	822	793																																																																																						
説明(算式等)	達成率	66.4%	82.2%	79.3%					1,000																																																																																			
成果指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																																																		
			実績	17,498	16,451	16,792																																																																																						
説明(算式等)	達成率	97.2%	91.4%	93.3%					18,000																																																																																			
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																																											
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">公民館別利用団体数及び利用人数</th> <th colspan="5">角沢ふれあい広場</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">萩野</th> <th colspan="2">八向</th> <th colspan="2">計</th> <th colspan="5"></th> </tr> <tr> <th>団体数</th> <th>人数</th> <th>団体数</th> <th>人数</th> <th>団体数</th> <th>人数</th> <th colspan="5"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>818</td> <td>13,013</td> <td>445</td> <td>6,482</td> <td>1,263</td> <td>19,495</td> <td colspan="5" rowspan="6"> 角沢地区において広場の維持管理を実施 内容:トイレの清掃(週1回程度) 広場の清掃・ノボロール(週1回程度) 除雪(広場内施設軒先の雪処理) </td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>977</td> <td>13,280</td> <td>437</td> <td>4,770</td> <td>1,414</td> <td>18,050</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>988</td> <td>11,113</td> <td>448</td> <td>4,709</td> <td>1,436</td> <td>15,822</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>548</td> <td>12,789</td> <td>353</td> <td>3,527</td> <td>901</td> <td>17,498</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>495</td> <td>12,686</td> <td>327</td> <td>3,765</td> <td>822</td> <td>16,451</td> </tr> <tr> <td>28</td> <td>491</td> <td>13,914</td> <td>302</td> <td>2,878</td> <td>793</td> <td>16,792</td> </tr> </tbody> </table>											公民館別利用団体数及び利用人数						角沢ふれあい広場						萩野		八向		計							団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数						23	818	13,013	445	6,482	1,263	19,495	角沢地区において広場の維持管理を実施 内容:トイレの清掃(週1回程度) 広場の清掃・ノボロール(週1回程度) 除雪(広場内施設軒先の雪処理)					24	977	13,280	437	4,770	1,414	18,050	25	988	11,113	448	4,709	1,436	15,822	26	548	12,789	353	3,527	901	17,498	27	495	12,686	327	3,765	822	16,451	28	491	13,914	302	2,878	793	16,792
	公民館別利用団体数及び利用人数						角沢ふれあい広場																																																																																					
		萩野		八向		計																																																																																						
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数																																																																																					
	23	818	13,013	445	6,482	1,263	19,495	角沢地区において広場の維持管理を実施 内容:トイレの清掃(週1回程度) 広場の清掃・ノボロール(週1回程度) 除雪(広場内施設軒先の雪処理)																																																																																				
	24	977	13,280	437	4,770	1,414	18,050																																																																																					
	25	988	11,113	448	4,709	1,436	15,822																																																																																					
26	548	12,789	353	3,527	901	17,498																																																																																						
27	495	12,686	327	3,765	822	16,451																																																																																						
28	491	13,914	302	2,878	793	16,792																																																																																						
成果(どのような状態になったか)	萩野地区公民館及び八向地区公民館ともに利用団体数が減少した。団体の定期的な利用はあるが、解散等により団体数が減少している。																																																																																											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	22,098	10,793	17,399	12,777			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担	292	376	305	288			公民館使用料 284
	その他特財							雑入(コピー代・公衆電話料等) 21
	一般財源	21,806	10,417	17,094	12,489			主な歳出の内訳
人件費・・・②	937	937	929	1,316			運営審議会委員報酬	33
内訳	正規職員(人)	0.12	0.12	0.12	0.17		非常勤嘱託報酬(萩野館長1名、八向館長1名)	3,641
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		日々雇用職員賃金(萩野1名、八向1名)	2,147
費用合計(①+②)	23,035	11,730	18,328	14,093			需用費	7,459
臨時嘱託等(人)							施設管理業務委託料	1,095
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	萩野地区公民館浄化槽更新修繕による増加						負担金(萩野地区公民館施設管理費負担金)	2,333

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域の生涯学習施設としての機能を果たしている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	地区の交流や学習の場となっており適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	地区全体としての利用促進を図れる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	最小限度の事業費である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	現在の雇用形態は適切である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	主に地域住民を対象としており連携はできない
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	事業の一部を協働で実施している
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	利用者アンケートを実施し、課題や要望にあった事業を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
利用団体数が年々減少している。萩野地区公民館では、老人クラブ連合会が輪投げ大会を機に各町内会に働きかけを行い利用者(高齢者)の増加につながった。八向地区公民館は、劣化が目だってきており、大規模改修が必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
地域のニーズや課題を緩和できるような事業の開催など、利用者増に向けた工夫が今後も必要。八向地区公民館の改修等について、本合海地区住民の意見の集約(アンケート調査)が行われた。地域において改修に向けた嘆願書を提出する方向で報告を受けている。本合海地区以外の意見も聞きながら、今後は実施に向けた検討を行っていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	公民館の設置目的に沿った事業を今後も展開していく必要がある。八向地区公民館の改修に向けて、地域との話し合いを進める。	所属長評価	地域のコミュニティーの中心として利用いただくなど、利用者の増加に向けた事業を展開していく必要がある。八向地区公民館の改修に向けては、八向地区全体の意見を聞きながら改修実施に向けた検討を行っていく。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 事業区分, etc. Includes details on budget codes and implementation periods.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的, 対象, 実施形態. Describes the objectives, targets (local community centers), and implementation methods (direct, commission, etc.).

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32. Rows include performance indicators (e.g., number of centers, awareness) and a detailed supplementary explanation of the budget and targets.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table showing financial resources by year (H26-H31). Includes rows for total expenses, personnel costs, and reasons for budget changes.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地域活動の拠点整備により活動の推進に結びついている
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	地域活動の拠点整備により地域の人材育成へ結びついており適切である
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	国の補助制度の活用による施設耐震化など補助対象の拡充を検討
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	他部門(自主防災組織対象事業)などと連携し事業展開を行う。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	他部門の補助事業と連携した事務人員を検討する
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	新庄市内の地区が対象であり無理である
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	地域公民館への補助制度であり難しい
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input checked="" type="radio"/> なっていない <input type="radio"/> なっている	補助対象の見直し要望がある



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
例年程度の申請件数となった。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

多額な申請を伴う場合は前年度から協議を行い予算化する。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
区長会で説明し周知を図った。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	地域公民館整備の助成は、地域活動を支援する重要な事業であり、予算規模も含め充実していく必要がある。	所属長評価	地域公民館の耐震化などにも対応可能な制度改正も検討が必要。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	青少年育成推進員設置事業			事務事業コード	322-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	松原 知子
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市青少年育成推進員設置要綱				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	● 期間限定 始期 年度 ~ 終期 32 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	○ 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	青少年育成市民会議との連携及び活動推進、青少年の非行防止及び青少年に有害な環境の浄化など、各種活動を通して、地域における青少年の育成指導並びに青少年健全育成運動を推進することを目的とする。	事業内容	市内学校区における青少年育成推進員が、教育委員会や他の青少年健全育成関係機関・団体と連携・協力し合い、様々な事業等を通じ、地域における青少年健全育成のための環境づくりと青少年育成活動への支援を行う。 主な活動としては、青少年育成市民会議事業における、高萩市児童交流事業や「だがしや楽校」への参加、違反広告物の除却作業や街頭指導などである。
対象	新庄市域の青少年		
目指す状態	他地域や異年齢層との交流事業の展開、また、ボランティア活動の支援等を行うなど、地域において健全な青少年を育成するための環境づくりを推進する。		実施形態

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内在住の青少年	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込				
			実績	4,312	4,232	4,191	4,158							
説明(算式等)	7~18歳	達成率												
活動指標	指標名称	児童参加型事業の回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画				
			実績	3	3	3					5			
説明(算式等)		達成率	60.0%	60.0%	60.0%									
成果指標	指標名称	活動回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標				
			実績	22	21	18					25			
説明(算式等)		達成率	88.0%	84.0%	72.0%									
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)													
	主な事業内容 ○高萩市児童交流事業:高萩市へ訪問する新庄市児童の引率・指導。高萩市から訪問する高萩市児童受入時の協力。 ○だがしや楽校の実施:子どもを対象とした体験ブース等を、「新庄市教育の日記念行事」開催時に実施。													
	高萩ジャンボリー参加者(高萩市への訪問) (人)					萩っ子歴史探検隊参加者(高萩市児童の受入れ) (人)								
	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	本市児童	30	35	36				茨城県高萩市児童	42	24	47			
	青少年育成推進員	4	4	4				青少年育成推進員	7	5	7			
中学生・高校生ボランティア	6	7	15				中学生・高校生ボランティア	1	7	11				
成果(どのような状態になったか)	青少年を対象とした、各種事業、大会、研修会などに参加し、青少年育成運動の推進を行った。													

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	110	100	100	100			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						県総合交付金 5,000*10人		50
	県支出金	50	50	50	50				
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	60	50	50	50			主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,796	1,405	1,393	3,716			報償費 10,000円*10人		100
内訳	正規職員(人)	0.23	0.18	0.18	0.48				
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	1,906	1,505	1,493	3,816					
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	青少年健全育成助成事業に参加し、地域を支える人材の育成に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	青少年を対象とした各種活動やイベント、研修会に積極的に参加しており、適正である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	設置要綱で規定された人数まで増員することができれば、より地域と密着した活動が期待できる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	報償費のみの予算措置となっているため、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	青少年を対象とした各種活動の中心的役割を担っており、改善の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	地区において、各市町村民会議と共に連絡協議会を設置し、連携した活動をしている。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	官民協働している事業である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域の課題や実情に合った事業となっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
青少年育成推進員の活動費がないため、青少年育成市民会議での事業に限定される。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

青少年と共に活動する場を検討している。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
青少年育成市民会議事業での活動は継続しながら、青少年育成推進員独自の活動も検討し、活動費も要望していく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	中・高校生ボランティア育成に対する支援など、青少年と関わる頻度を増やし、独自の活動につなげていく。	所属長評価	青少年ボランティア育成に対する支援など、中学生・高校生・高校卒業後の青年層等と関わる頻度を増やすとともに、独自の活動につなげていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	新庄市青少年育成市民会議事業			事務事業コード	322-202-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	松原 知子
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年を取り巻く家庭、学校、地域、行政等が相互に連携し環境づくりを進める。		事業内容	青少年の健全育成活動に関わる諸団体と連携し、地域が広く青少年の健全育成に関わり、地域ぐるみの活動が展開されるような取り組みを展開。また、高萩市児童交流事業などを通して、他地域との交流も図る。 ①高萩市との児童交流 ②地域青少年健全育成助成事業		
対象	市民・市域の青少年			実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託
目指す	地域がより積極的に青少年の健全育成に関心を持ち、活動に関わる社会環境づくりを推進する。		<input type="checkbox"/> 補助・負担		<input checked="" type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内在住の青少年	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	4,312	4,232	4,191	4,158			
説明(算式等)	7~18歳		達成率							
活動指標	指標名称	事業の実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	20	21	22				
説明(算式等)			達成率	90.9%	95.5%	100.0%				22
成果指標	指標名称	事業の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	1,295	1,470	1,408				
説明(算式等)			達成率	95.2%	108.1%	103.5%				1,360

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

No.	事業名	人数	No.	事業名	人数	No.	事業名	人数	No.	事業名	人数
1	総会	70	8	青少年健全育成助成事業③	100	15	きずな写真展	-	22	きずな写真展	-
2	高萩ジャンボリー	60	9	青少年健全育成助成事業④	250	16	高校生ボランティア助成①	-			
3	萩っ子歴史探検隊	91	10	青少年健全育成助成事業⑤	203	17	高校生ボランティア助成②	-			
4	教育の日記念行事	-	11	街頭指導	4	18	高校生ボランティア助成③	-			合計
5	あいさつ運動	180	12	違反広告物簡易除却	1	19	高校生ボランティア助成④	-			事業実施数
6	青少年健全育成助成事業①	420	13	社会を明るくする運動への支援	-	20	ジュニアリーダーセミナー助成	-			事業参加者数
7	青少年健全育成助成事業②	25	14	家庭教育相談の日	-	21	県民大会参加	4			1408

成果(どのような状態になったか)

事業を実施することにより、青少年の健全育成のための社会環境づくりが推進された。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費 ... ①	1,388	1,356	1,384	1,388			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						一戸あたり100円の会費及び雑入等		1,384
	県支出金								
	受益者負担	1,388	1,356	1,384	1,388				
	その他特財								
一般財源	0	0	0	0			主な歳出の内訳		
人件費 ... ②	1,796	1,796	1,780	2,555			事務費	119	
内訳	正規職員(人)	0.23	0.23	0.23	0.33		広報費	179	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		健全育成活動費	796	
費用合計(①+②)	3,184	3,152	3,164	3,943					
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	地域が広く青少年の健全育成に関わることは、施策に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	次代を担う青少年の健全な育成を図るには適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	青少年の健全育成に関わる関係者や団体が連携することによって、より積極的に活動に関わる環境づくりが推進される。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	削減の余地がない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事務局を市で担っており、必要な人員である。また、青少年の健全育成に関わる関係者や団体との調整が必要であり、現時点では市が担うべきと考える。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	地区での連絡協議会を設置しており、連携している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	青少年に健全育成に関わる関係者や団体と協働しながら実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域が広く青少年の健全育成に関わるべく事業を実施している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
茨城県高萩市との児童交流事業や、地域青少年健全育成助成事業、あいさつ運動など、活発な活動を展開した。人口の減少傾向により、将来的な会費収入の減少が懸念される。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

直接的な予算措置ではないが、事務経費の一部を市で負担している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
会費収入の減少を想定して、将来的な市の予算配置を検討する必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	より多くの市民から理解・協力を得るために、事業内容のさらなる周知が必要である。	所属長評価	市民に対して事業内容をさらに周知し、理解・協力を得ながら事業を実施していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	成人式開催事業			事務事業コード	322-203-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	鈴木 悠
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	成人式開催事業費	予算コード	01-100401-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	式典の開催により、新成人になったことを祝い、自覚を促し、地域を支える人材の育成を目的としている。	事業内容	式典を開催する。次第は以下の通り。 ①開式のことば ②新庄市民歌斉唱並びに市民憲章唱和 ③主催者あいさつ ④祝電披露 ⑤来賓、主催者紹介 ⑥新成人代表のことば ⑦スライド上映 ⑧閉式のことば		
対象	市内在住及び市内中学校卒業生の成人(満20歳)				
目指す状態	成人式を機に、成人としての自覚並びにふるさとへの醸成を促すことを目指している。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	成人対象者数(人)	年度							H32見込		
			H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	実績	445	445	493	444					470		
	達成率											
活動指標	指標名称	式の開催	年度							H32計画		
			H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	実績	1	1	1					1			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%								
成果指標	指標名称	成人式参加率(%)	年度							H32目標		
			H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	実績	69	67	72					75			
	達成率	98.6%	89.3%	96.0%								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28		
		対象者数	538	489	445	492	491	445	493	444		
		参加者数	399	328	299	362	344	307	332	323		
		参加率	74%	67%	67%	73%	70%	68%	67%	72%		
成果(どのような状態になったか)	式典は簡素化したが、成人式の認識は高く、昨年度に引き続き、参加率も約7割と高い率であった。											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	57	60	62	62			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	57	60	62	62			主な歳出の内訳
人件費・・・②	926	1,796	1,161	1,935			消耗品	23
内訳	正規職員(人)	0.11	0.23	0.15	0.25		通信運搬費	26
	1人当たり単価	8,418	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	983	1,856	1,223	1,997				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	成人式への関心が高く、参加率も高いため、地域を支える人材の育成に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	式典は簡素化されたが、その後の中学校区での交流がさかんであり、目指す状態は適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	現状でも高い参加率となっている。式典中の企画等を工夫すれば、出席率も高くなり、新成人の認識も高くなる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	現状でも、かなり削減しており、これ以上の事業を遂行していく上で、困難になる。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	簡素化された式典の割には、業務量が多いため、企画、運営をしていく上で困難。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	対象者が市内在住及び市内中学校卒業生の成人であるため。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	高校生ボランティア等や、地域の方々からの協力ももらいながら業務を遂行できる。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	新成人の関心を高く持ってもらう事業になっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
式典中のスライド上映や、式典内容を工夫する事ができた。式典に参加した新成人に対しても、認識をより持ていただいた。参加率をあげるため、実行委員会形式をとるなど、より新成人が参加しやすい工夫をする必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

式典業務において、市の職員はもちろん、高校生ボランティアの協力をもらいながら、業務を遂行している。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
新成人による実行委員会の組織化につなげるため、高校生ボランティアの拡大が望まれる。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	実行委員会の組織化を進め、地域の方々にも、協力を求めながら式典を進めていく必要がある。	所属長評価	実行委員会の組織化を進め、地域の方々にも、協力を求めながら式典を進めていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	高校生ボランティア体験事業			事務事業コード	322-204-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	松原 知子
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	社会教育総務事業費	予算コード	01-100401-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	高校生を中心とした青少年にとって、ボランティア活動は豊かな学びの場であり、将来的に地域で活動する人材の育成にもつなげる。	事業内容	社会教育課が事務局となっている高校生ボランティアサークル「しずく」を平成26年度に再開。平成25年度より実施した登録制も継続し、ボランティア活動の体験機会の増加を図る。また、学校単位でのボランティア活動についても支援しながら、地域社会において公益的な活動をする人材を育てるために、地域活動団体や青年グループとも交流・連携しながら活動を行う。		
対象	高校生、青少年				
目指す状態	高校生を中心とした青少年がボランティア活動を実施することで、将来、地域社会において公益的な活動を展開できる人材の育成を目指す。		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内高等学校生徒数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																									
			実績	1,739	1,680	1,724																													
	説明(算式等)		達成率																																
活動指標	指標名称	ボランティア活動を行った回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																									
			実績	34	45	65																													
	説明(算式等)		達成率	85.0%	112.5%	162.5%				40																									
成果指標	指標名称	しずく登録者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																									
			実績	32	40	51																													
	説明(算式等)		達成率	91.4%	114.3%	145.7%				35																									
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																		
	・主体的に活動するボランティアサークルを再開しつつ、手上げ方式で参加する登録ボランティアも実施した。																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ボランティア区分</th> <th>人数</th> <th>対象</th> <th>区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庄市高校生ボランティアサークルしずく</td> <td>51</td> <td>高校生</td> <td>サークル</td> <td>サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施</td> </tr> <tr> <td>新庄市青少年ボランティア【高校生】</td> <td>17</td> <td>高校生</td> <td>登録ボランティア</td> <td>ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動</td> </tr> <tr> <td>kitokitoサポーター</td> <td>14</td> <td>高校生</td> <td>登録ボランティア</td> <td>kitokitoマルシェ運営補助及び準備などを中心に活動</td> </tr> <tr> <td>新庄市青少年ボランティア【中学生】</td> <td>16</td> <td>中学生</td> <td>登録ボランティア</td> <td>ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動</td> </tr> </tbody> </table>										ボランティア区分	人数	対象	区分	備考	新庄市高校生ボランティアサークルしずく	51	高校生	サークル	サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施	新庄市青少年ボランティア【高校生】	17	高校生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動	kitokitoサポーター	14	高校生	登録ボランティア	kitokitoマルシェ運営補助及び準備などを中心に活動	新庄市青少年ボランティア【中学生】	16	中学生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動
	ボランティア区分	人数	対象	区分	備考																														
	新庄市高校生ボランティアサークルしずく	51	高校生	サークル	サークル運営、依頼ボランティア、自主企画などを実施																														
	新庄市青少年ボランティア【高校生】	17	高校生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動																														
kitokitoサポーター	14	高校生	登録ボランティア	kitokitoマルシェ運営補助及び準備などを中心に活動																															
新庄市青少年ボランティア【中学生】	16	中学生	登録ボランティア	ボランティア体験として依頼ボランティアを中心に活動																															
成果(どのような状態になったか)	ボランティア活動を実施する中で、公益的視点を養うきっかけづくりができた。																																		

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	30	74	140	253			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	30	74	140	253			主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,327	2,342	2,167	3,329			消耗品	117
内訳	正規職員(人)	0.17	0.30	0.28	0.43		報償費	10
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		保険料	13
費用合計(①+②)	1,357	2,416	2,307	3,582				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	消耗品費、保険料の増加による							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施策展開である「地域を支える人材の育成」に合致する。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施策展開である「地域を支える人材の育成」に合致するため適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	高校生が、より主体性をもった活動となるよう検討が必要である。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	効果的な活動を実施するためには削減の余地がない。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	行政が直接関わる必要のある事業のため適正だが、青少年層の人材育成にはより多くの人員が必要である。
	⑥他自治体と連携できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	実際の活動において連携は可能である。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	活動において、地域で活動している異世代の方々と協働している。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	将来の地域を担う人材の育成につながり、地域の課題や実情に合った事業である。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
各学校でも学校管理下でのボランティア活動は活発であるが、より主体性を持った活動をするためには、県で推奨している山形方式(YVボランティア)と言われる、学校の枠を超えた地域を単位とする活動が有効である。また、継続的に、より効果的な活動をしていくためには、中学生世代からの関わりや、高校卒業後の青年層の関わりが重要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

主体的な活動を目指すボランティアサークル活動とともに、気軽にボランティア体験のできる仕組みも継続していく。 中学生世代については、ボランティア体験をする機会を増やしていく。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
各学校のボランティア活動についても情報交換・連携しながら、地域でのボランティアサークル活動を推進していく。地域活動団体や青年グループとも連携しながら、継続的に地域に関わる活動を検討していく。また、県のジュニアリーダーセミナー等を通して、中学生世代との関わりも深めていく。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	行政の支援に加えて、青少年育成推進員の協力を得て、長くボランティア活動に従事できるよう、中学生も加えた活動を進めていく。	所属長評価	行政の支援に加えて青少年育成推進員などの協力も得ながら、継続して、より効果的なボランティア活動に従事できるよう、中学生や高校卒業後の青年層も加えた活動を進めていく。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市民活動支援事業			事務事業コード	322-205-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	鈴木 悠
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	462
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項2目	市民活動交流ひろば事業費	予算コード	01-100402-0500
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	地域社会の課題解決や発展のために市民活動団体が行う様々な活動を支援し、地域を支える人材・団体の育成を行う。	事業内容	・市民活動に必要な機材の提供 ・市民活動に関する相談、情報提供 ・市民に広くPRする市民活動フェスタの開催 ・市民活動のスキルアップ講座の実施 ・活動に必要な資金獲得のサポート		
対象	社会貢献を目的として活動している個人、公益的団体、企業		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	
目指す	市民活動交流ひろばを拠点に、市民活動に必要な情報の収集や市民団体の交流を深め、互いの活動を高めるネットワークができています。				

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	37,202	36,904	36,833				36,000
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	ぶらっと利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	2,585	2,713	2,687				3,200
	説明(算式等)	設備利用・作業1,509人、相談・その他1,178人	達成率	80.8%	84.8%	84.0%				
成果指標	指標名称	市民活動に対する支援が充実していると答えた割合(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	16	16	15				20
	説明(算式等)	まちづくり市民アンケート	達成率	80.0%	80.0%	75.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■各助成金獲得団体数(28年度) ・荘内銀行ふるさと創造金/1団体 ・やまがた社会貢献基金/2団体									
成果(どのような状態になったか)	利用者数が増え、市民協働を進めるための人材・団体の育成につながっている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	4,848	4,673	4,844	0			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金						ぶらっと各種機器使用料		1,010
	県支出金								
	受益者負担	1,070	1,029	1,020					
	その他特財								
一般財源	3,778	3,644	3,824				主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,718	1,015	1,316	1,935			報酬	2,006	
内訳	正規職員(人)	0.22	0.13	0.17	0.25		賃金	1,171	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		消耗品	624	
費用合計(①+②)	6,566	5,688	6,160	1,935			役務費	92	
臨時嘱託等(人)	2.00	2.00	2.00	0.00			使用料及び賃借料	708	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	利用者も増え、協働を進める上で一方の主体者となる市民・団体等の育成・支援に直結するものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	市民・団体の育成に一定の成果が見られるが、今後は地域コミュニティ活性化に必要な人材育成や、ネットワークづくりが求められる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	課の関連業務を見直し、上記した新たな取り組みについて、地域コミュニティ支援担当課と連携し、進める必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	休日における人員配置もぎりぎりであり、消耗品についても、設備使用料(収入)に応じたものとなっていない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	市民団体と行政の橋渡し役として、今まで通り市直営の形態が妥当であるが、地域コミュニティ支援も含めた市民協働をどう進めるかにより、組織や人員配置の見直しが必要となってくる。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	管内でも唯一の市民活動支援のための施設であり、使用料の段階設定等により、当市以外の市民団体等も活用できる仕組みづくりも可能である。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	市としての協働の主体性の一端を担う場であり、管理運営主体は市直営が妥当であるが、ソフト事業の推進においては様々な取組みが可能である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	今後の協働の方向性についての検討が必要。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
地域コミュニティ支援も含め、市民協働の現状を踏まえ、今後の協働の方向性についての検討が必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

施設利用者の増につながる仕組みづくりを進めるとともに、地域コミュニティ支援担当課と共に市民協働の推進に必要な人員配置や組織の有り方を検討した結果、次年度(平成29年度)より指定管理者へ事業を委託することとした。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
地域コミュニティ支援担当課と共に、人員配置や組織の有り方等も含め、地域コミュニティ支援も含めた市民協働をどう進めるかについて見直しを図る。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	施設利用者の増につながる仕組みづくりを進めるとともに、地域コミュニティ支援担当課と共に市民協働の推進に必要な人員配置や組織の有り方を検討し、効果的な事業の実施に努めていく。	所属長評価	施設利用者の増につながる仕組みづくりを進めるとともに、地域コミュニティ支援担当課と共に市民協働の推進に必要な人員配置や組織の有り方を検討した結果、次年度(平成29年度)より指定管理者へ事業を委託することとした。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	女性団体育成支援関係事業			事務事業コード	322-206-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	東海林美紀
	施策名	2	活力みなぎる地域活動の推進	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	職員給与費	予算コード	01-100401-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 60 年度頃~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	各団体の連帯を深め、世代間交流を通じた担い手作りとリーダー育成を図り、地域において活動していく。	事業内容	新庄市女性団体連絡協議会事務局として事業を支援する。		
対象	新庄市女性団体連絡協議会				
目指す状態	地域づくり活動に参画している女性会員の資質向上と、地域におけるリーダーの育成。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	加入団体数(団体)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込											
			実績	4	3	3					4										
説明(算式等)	達成率																				
活動指標	指標名称	会議の開催数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画											
			実績	7	4	4					5										
説明(算式等)	達成率																				
成果指標	指標名称	女性団体関係事業数(事業)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標											
			実績	17	11	11					15										
説明(算式等)	達成率	85.0%	73.3%	73.3%																	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																				
					H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28										
		新庄市交通安全母の会			○	○	○	○	○	○	○										
		JA新庄市女性部			○	○	○	○	○	脱退											
		野村生涯教育センター			○	○	○	○	○	○	○										
		新庄商工会議所女性会			○	○	○	○	○	○	○										
		JA新庄もがみ女性部昭和支部			○	○	○	○	○	脱退											
		新庄市母子寡婦福祉協会			○	脱退															
	かやのみ会			○	脱退																
成果(どのような状態になったか)	団体数が少なく、限られた活動となっている。																				

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	0	0	0	0			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0			主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,327	1,327	1,316	1,316				
内訳	正規職員(人)	0.17	0.17	0.17	0.17			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,327	1,327	1,316	1,316				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	活力ある地域活動を進めるために、女性団体の連携の場として必要である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	各団体のリーダーとして地域貢献している。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	加入団体を増やす。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	団体からの会費で事業を行っている。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小限で実施している。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	対象は市民である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	協働事業である。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	女性団体の意見を市政に反映するための活動を行っている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
加盟団体数の減少や会員の高齢化が引き続き課題となっている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

廃止。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	加盟団体独自の活動が活発に行われている一方で、女団連での活動が一部の役員になっている傾向があり、負担感が大きい感がある。 現状を踏まえた活動のあり方について、検討する必要がある。	所属長評価	28年度をもって女性団体連絡協議会は解散した。会の活動はここ数年停滞しており、やむを得ないものとする。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for 'ふるさと歴史センター事業'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Describes the purpose, target audience, and implementation status of the project.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32. Includes sub-tables for '対象指標', '活動指標', '成果指標', and '補足説明'.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns for years H26-H31. Details the budget and resources for the project, including personnel and material costs.

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	新庄市のまつり・歴史・民俗・文化芸術を紹介する唯一の施設として開館している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市民に対して民俗文化の振興を図っている。また、観光客に対しては、新庄まつりを中心とした、地域の魅力を発信しており適切といえる。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	企画展や展示方法は工夫を凝らしているが、前回よりもよい企画・展示を目指すことはできる。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	事業費の内訳は、山車関係の賃借料等が主であり、展示など事業運営のための経費はほとんどない。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	学芸員の配置が必要である。文化団体等との連携を考慮すると、現時点では直営が望ましい。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	展示品の貸し借りをしているが、美術品等については、移動による破損のおそれがあるので難しい状況になっている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	一部、歴史関係の団体や文化団体などと協働で実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	若者の流出の歯止めとして、郷土愛を醸成することによる定住促進を目指している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
来館者の増。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

市ホームページに動画による展示品の紹介をしている。
企画展の魅力的なチラシを作成している。
展示説明に英語を加えた。
ユネスコ無形文化遺産登録記念事業を実施した。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
常設展や企画展を充実しPRをしていく。展示方法を工夫する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	山車会館、歴史民俗資料館、さらに美術館の要素もある施設のため、それぞれの要素の良さを引き出す必要がある。	所属長評価	ユネスコ無形文化遺産登録を活用し、インバウンドも含めたPR戦略を図り、来館者の増加につなげる必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	ふるさと歴史センター管理事業			事務事業コード	323-102-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市都市公園条例、新庄市山車会館及び新庄市歴史民俗資料館の管理及び使用に関する規則				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項8目	ふるさと歴史センター管理事業費	予算コード	01-100408-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 昭和 58 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	施設の維持管理	事業内容	電気設備や消防設備等は法令等に基づいて専門業者に点検を委託する。日常的な点検は職員が実施する。		
対象	市民及び観光客				
目指す状態	施設の適正な維持管理によって安全かつ快適な観覧環境を提供するとともに、収蔵資料及び展示品の安定的な保存状態を確保する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
				実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率
活動指標	指標名称	開館日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	説明(算式等)		実績	306	307	306				306	
成果指標	指標名称	入館者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	説明(算式等)		実績	14,603	12,433	13,143				15,000	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
		【設備点検項目】					【施設等維持項目】				
成果(どのような状態になったか)	施設の設備等を適正に管理し、安全かつ快適な観覧環境を提供するとともに、収蔵資料及び展示品の安定的な保存状態を確保することができた。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	24,262	20,596	23,664	19,993			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金			3,354			使用料(観覧料)	2,596
	県支出金						雑入(目的外使用料)	270
	受益者負担						地方創生推進交付金	3,354
	その他特財	3,886	2,763	2,866	2,518			
	一般財源	20,376	17,833	17,444	17,475			
								主な歳出の内訳
人件費・・・②	3,670	2,811	2,864	2,864			日々雇用職員賃金	1,408
内訳	正規職員(人)	0.47	0.36	0.37	0.37		需用費	7,278
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		委託料	7,665
費用合計(①+②)	27,932	23,407	26,528	22,857			備品購入費	6,709
臨時嘱託等(人)	1.00	1.00	1.00	1.00				
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施設を適正に維持管理し、入館者の安全を確保することは、収蔵・展示し文化 芸術の振興を図る前提となる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施設の管理が対象の事業であり適切に実施した。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	設備が老朽化しており、設備を更新することで、事業成果の向上を図ることは できる。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	節電・省エネに心がけ施設の維持管理を行っており、削減の余地はない。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	維持管理業務だけを運営業務と切り離すことができないため、当分の間は直 営が望ましい。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	施設の統合はできない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	専門業者に委託している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域の文化芸術の振興に寄与している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の老朽化に伴い計画的な修繕及び設備の更新が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における
取り組み状況

緊急を要する修繕については、来館者の安全確保を第1に考え、実施している。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
中期財政計画では、屋根修繕がH29～30、お祭りホール修繕がH31年度となっており、これに沿って改修する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	不特定の人 coming する有料施設であるため、安全で快適な環境づくりに努めなければならない、また、収蔵資料は適切に保存しなければならない。	所属長評価	修繕等については、計画的に、時機を逸することなく行う必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	重文旧矢作家住宅管理事業			事務事業コード	323-103-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	重要文化財旧矢作家住宅の設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項7目	重文旧矢作家住宅管理事業費	予算コード	01-100407-0100
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めの無い事業)				

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世へ残す。	事業内容	最上地方における江戸時代中期の農家住宅の構造が見られる貴重な建造物として、国の重要文化財に指定された「旧矢作家住宅」の安定的な維持管理と、文化財の活用として一般公開に努める。		
対象	一般市民と観光客、管理団体				
目指す状態	国の重要文化財に指定されている「旧矢作家住宅」の適切な維持管理と、見学者への案内・対応、安全の確保。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	2	2	2				
	旧矢作家管理委員会の開催数(回)	達成率								
活動指標	旧矢作家住宅の公開日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
		実績	209	210	209				210	
		達成率	99.5%	100.0%	99.5%					
成果指標	旧矢作家住宅の見学者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
		実績	1,498	1,144	1,476				1,600	
		達成率	93.6%	71.5%	92.3%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	国の重要文化財等の適切な維持管理と、見学者への案内・対応、安全の確保を図ることができた。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	6,282	1,842	1,908	2,718			歳入の積算内訳	
内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	6,282	1,842	1,908	2,718			主な歳出の内訳	
人件費 … ②	1,718	1,327	1,626	1,316			報酬	54
内 訳	正規職員(人)	0.22	0.17	0.21	0.17		賃金	1,315
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		報償費	157
費用合計(①+②)	8,000	3,169	3,534	4,034			需用費	282
臨時嘱託等(人)	1.00	1.00	1.00	1.00			委託料	651
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市は、先人達が残してきた優れた文化遺産を後世に残していく責務がある。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	指定文化財の維持管理事業であり適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	文化財の維持管理としては最低限の経費である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	維持管理に経費がかかるなか、最低限の負担である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小人員で対応しており適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	維持管理についての情報共有の部分で連携が可能である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	旧矢作家住宅管理委員会委員に意見をいただきながら、維持管理に努めている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	旧矢作家住宅管理委員会委員に意見をいただきながら、維持管理に努めている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)

茅葺屋根については、葺き替えが必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

県と調整を図っている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

文化庁と県と協議して、修繕計画を作成する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	ここ数年の豪雪による屋根の補修について、早急な対応を行う必要がある。	所属長評価	保存活用計画の策定と屋根の修繕が近々必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

PLAN 計画

1. 基本事項

事務事業名	ふるさと歴史センター資料収集、保存、調査研究事業			事務事業コード	323-104-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項8目	ふるさと歴史センター事業費	予算コード	01-100408-0600
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 58 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	収蔵資料の適切な保存管理・調査研究	事業内容	未整理資料・収蔵品の整理。館内のどこに、どんな資料が、どれだけ収蔵されているか、という基本情報を短時間で検索できる体制の構築。		
対象	歴史センター収蔵資料、小中学生、一般市民、研究者				
目指す状態	収蔵資料の適切な保存管理・調査研究によって、資料の積極的活用を図る。未整理資料・収蔵品の整理。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	整理済資料件数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	100,942	101,778	102,739					
説明(算式等)			達成率								
活動指標	指標名称	古文書整理従事者数(延/年)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	120	116	96					
説明(算式等)			達成率								
成果指標	指標名称	年間の資料整理・データ化件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	1,858	807	961					1,400
説明(算式等)			達成率	132.7%	57.6%	68.6%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
成果(どのような状態になったか)	未整理資料・収蔵品の整理が進んだ。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	2,395	1,954	1,438	1,575			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	2,395	1,954	1,438	1,575			主な歳出の内訳
人件費・・・②	2,420	1,640	1,703	697			日々雇用職員賃金	1,408
内訳	正規職員(人)	0.31	0.21	0.22	0.09		委託料	30
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	4,815	3,594	3,141	2,272				
臨時嘱託等(人)	2.00	1.50	1.00	1.00				
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

DO 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	収蔵品の調査・整理等は本施設の根幹をなすものであり、施設の充実は市の文化振興に結びつく。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	収蔵品を活用するためには、調査・整理が必要であり、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	現在は、ボランティアの方々を中心に調査・整理を実施し、データ化については、日々雇用職員が対応している。調査・整理の人的体制を整えれば成果の向上は望める。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	ボランティアにより整理・調査を実施している現状であり、事業を推進するためには、経費の増額が必要である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	調査・整理での人員増を図れば、成果が向上する。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	当館の収蔵史料である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	当市に関わる資料であり、調査することで、地域史の解明につながる。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
経費については、ボランティアとの協働の推進の観点からも考慮が必要

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
ボランティアの増員が図れるか協議していく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	歴史・民俗資料の整理については、手法を検討し、効率的に行う必要がある。	所属長評価	資料整理の方法を検討し、効率的に行う必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	民話普及事業			事務事業コード	323-105-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	7605
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項8目	ふるさと歴史センター事業費	予算コード	01-100408-0600
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 61 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、伝承していく。	事業内容	新庄民話の会との協働事業を基本に、語り手に発表の機会を増やす。		
対象	民話、地域住民及び県内外の民話愛好者				
目指す状態	新庄・最上の民話の普及、語り手育成。“民話のふるさと・新庄”の確立。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	新庄・最上に伝わる民話の数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	500	500	500					500
説明(算式等)	達成率										
活動指標	指標名称	語り実践学校(校)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	5	3	3				5	
説明(算式等)	達成率	100.0%	60.0%	60.0%							
成果指標	指標名称	語りの日観客数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	600	570	451				650	
説明(算式等)	達成率	92.3%	87.7%	69.4%							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	語り実践学校(民話伝承活動)										
	・萩野学園										
	・北辰小学校										
	・本合海小学校										
	民話まつり										
	夏語り、秋語りとして年2回、各1日開催										
成果(どのような状態になったか)	小学生や民話愛好者に普及ができた。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	432	729	429	153			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						県総合交付金	300
	県支出金	300	300	300				
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	132	429	129	153			主な歳出の内訳	
人件費・・・②	2,420	1,640	1,703	1,316			謝金	129
内訳	正規職員(人)	0.31	0.21	0.22	0.17		負担金	300
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	2,852	2,369	2,132	1,469				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H27は、第30回みちのく民話まつり事業に負担金を支出							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	先人の知恵の結集ともいえる民話を通して、地域の自然・歴史・文化を守り、 伝承していくことにより、文化振興につながる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	現状において適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	大部分の事業が「新庄民話の会」との協働により推進しており、行政のみで成 果の向上は難しい。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	大部分の事業が「新庄民話の会」との協働により推進しており、最低限の経費 は必要である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	現状において適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	近隣の市町村に事業はない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	「民話のふるさと新庄」を掲げている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)

新庄民話の会との連携協働による事業・活動が有効に機能している。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

更なる新庄民話の会との連携強化。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長 評価	新庄・最上に伝わる貴重な多くの民話は、文化財であり「新庄民話の 会」と連携・協働を深め、伝承・普及していく必要がある。	所属長 評価	子どもたちの育成に加え、大人の語り手育成を行う必要がある。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	文化財保護管理事業			事務事業コード	323-106-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項6目	文化財保護管理事業費	予算コード	01-100406-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世へ残す。	事業内容	関係団体との協議のもと、市内に存在する文化財の安定的な維持管理に努める。		
対象	一般市民と観光客、国・県・市指定文化財、保存団体、所有者				
目指す状態	建造物等有形文化財及び史跡、天然記念物の適切な維持管理と、見学者への案内や安全の確保。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	文化財の数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	53	53	53					
説明(算式等)			達成率								
活動指標	指標名称	市文化財保護審議会の開催回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	1	1	0					1
説明(算式等)			達成率	100.0%	100.0%	0.0%					
成果指標	指標名称	国の文化財(戸沢家墓所、八幡神社)への見学者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	45,000	45,000	45,000					47,000
説明(算式等)			達成率	95.7%	95.7%	95.7%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
成果(どのような状態になったか)	重要文化財等の適切な維持管理と、見学者への案内・対応、安全の確保を図ることができた。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	33,950	3,932	7,021	18,223			歳入の積算内訳	
内 訳	国庫支出金	12,636		6,034				
	県支出金	1,263	2,236	603				
	受益者負担							
	その他特財			7,003				
	一般財源	20,051	1,696	7,021	4,583			主な歳出の内訳
人件費 … ②	781	781	2,555	3,251			需用費	766
内 訳	正規職員(人)	0.10	0.10	0.33	0.42		施設管理業務委託料	213
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		測量設計業務委託料	4,266
費用合計(①+②)	34,731	4,713	9,576	21,474			負担金	1,500
臨時嘱託等(人)	1.00			1.00				
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	戸沢家墓所修理工事実施設計業務委託料及びユネスコ無形文化遺産記念事業実行委員会負担金の増による。							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	市は、先人達が残してきた優れた文化遺産を後世に残していく責務がある。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	指定文化財の維持管理事業であり適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	文化財の維持管理としては最低限の経費である。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	維持管理に経費がかかるなか、最低限の負担である。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	最小人員で対応し、行政としてすべきことであり適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	文化財の維持管理についての情報共有の面では連携できる。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	文化財の保護・保存・伝承については関係団体等との協働の余地がある。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域の優れた文化遺産を後世に残していく事業である。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
戸沢家墓所については、最低限の経費で維持してきたが限界がきた。茅葺屋根の葺き替えが必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

H29年度に補助金申請をしている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
修繕に向けて、文化庁と県と協議する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	緊急性を含めた優先順位を考えながら、適切に保護管理していく必要がある。	所属長評価	保存活用計画を策定し、計画的な茅屋根の修繕が必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for '新庄亀綾織伝承協会支援事業'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 目指す. Includes a detailed '事業内容' section describing the support for the '新庄亀綾織伝承協会'.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32見込. Rows include '対象指標', '活動指標', '成果指標', and '補足説明'. Includes a '成果' section at the bottom.

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns for years H26-H31. Rows include '事業費', '内訳', '費用合計', and '事業費増減の理由'. Includes a '事業費の算出根拠(H28)' section.

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	伝承協会を支援することにより、市の伝統的工芸品である亀綾織を存続させることを可能としている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	当該協会は亀綾織を伝承している市内唯一の団体であるので、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	今後、後継者(織り手)が増えれば、市の伝統的工芸品である亀綾織が存続可能である。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現時点でも運営資金が不足している状態であり、削減の余地がない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	新庄亀綾織を後世に継承するためには、行政との連携は不可欠である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	伝統工芸品の継承及び団体運営についての情報交換といった部分では連携可能である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	現在、伝承協会と協働している事業である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	伝統的工芸品を後世に残していくことは市の責務であり、地域課題や実情にも合致している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
後継者育成事業により、織り手を中心となって協会を運営しているが、織り手の人数が少なく、更なる後継者育成が必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

H29年度に補助金を増額した。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
伝統的工芸品として保護強化することを目的に、後継者育成の観点から補助金の増額を至急検討する必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	技術の伝承に主眼を置いた若手育成と定着を進めるために、一時的でない安定的な財政支援が必要である。	所属長評価	後継者育成については、地元にとどまらず、移住者もターゲットとした人材確保に努める必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	国・県指定文化財管理費補助金				事務事業コード	323-108-63	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち			担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る			担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興			内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業			
法令根拠							
条例・要綱等							
予算・事務事業名	一般会計	10款4項6目	文化財保護管理事業費		予算コード	01-100406-0100	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)						
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)						
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)						

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世へ残すために、国や県から指定された文化財の維持管理費の一部を助成する。	事業内容	国及び県指定文化財の所有者による維持管理を原則としつつ、必要最低限の財政支援を行う。		
対象	国指定重要文化財「八幡神社本殿・拝殿」及び宗教法人八幡神社、国の重要無形民俗文化財「新庄まつりの山車行事」及び新庄まつり山車行事保存会				
目指す状態	八幡神社本殿・拝殿の安定的な維持管理と、新庄まつり山車行事保存会の運営。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	国・県指定文化財数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	11	11	11					
説明(算式等)	達成率										
活動指標	指標名称	支援文化財数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	2	2	2					3
説明(算式等)	達成率		66.7%	66.7%	66.7%						
成果指標	指標名称	維持管理された文化財数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	2	2	2					3
説明(算式等)	達成率		66.7%	66.7%	66.7%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	支援文化財										
	・新庄まつり山車行事保存会										
	・鳥越八幡神社										
成果(どのような状態になったか)	「新庄まつりの山車行事」が全国の重要無形民俗文化財に指定されている曳山行事32件とともに、一括して「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形文化遺産へ登録された。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	131	141	630	419			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	131	141	630	419			主な歳出の内訳	
人件費・・・②	625	625	697	464			新庄まつり山車行事保存会補助金	600
内訳	正規職員(人)	0.08	0.08	0.09	0.06		国指定文化財管理費補助金	30
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	756	766	1,327	883				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	新庄まつり山車行事保存会への補助金の増							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市は、先人達が残してきた優れた文化遺産を後世に残していく責務がある。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	原則所有者負担であるが、市の責務として応分の負担をしている。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	維持管理には経費がかかる。行政としては最低限の経費負担しかしていない。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	維持管理に経費がかかるなか、所有者負担の原則のもと最低限の負担しかしていない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小人員で対応し、行政としてすべきことであるので適正である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	補助事業であるので、連携にはなじまない。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	応分の負担という点で協働している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の財産である文化財を後世に残していく事業である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
八幡神社の老朽化が目立ってきている。 ユネスコ無形文化遺産への登録は、市民の誇りであり、文化財の保護と継承のために、保護団体である「新庄まつり山車行事保存会」への支援が必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
補助金の継続。 八幡神社と協議して修繕を図っていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	管理費補助金を継続するとともに、ユネスコ無形文化遺産登録に向け、新庄まつり山車行事保存会の活動のさらなる支援が必要である。	所属長評価	ユネスコ無形文化遺産に登録され、更なる保護と継承を図るため、新庄まつり山車行事保存会の活動を支援することが必要である。 八幡神社は所有者と協議して早期の修繕が必要。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	国文化財指定登録事業			事務事業コード	323-109-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	佐藤 嘉信
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	22-2188
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項6目	文化財保護管理事業費	予算コード	01-100406-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	優れた文化遺産を後世に残していくこと。	事業内容	国の文化財とすべき優れた価値のある文化遺産を発掘し、その価値を調査して国の指定・登録を目指す。		
対象	市内に埋もれている文化財				
目指す状態	国の文化財として認識してもらい、あわせて文化財に対する市民の意識の高揚を図る。		実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																																																																																			
			実績																																																																																																									
活動指標	調査活動数及び例会開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																																																																																			
		実績	0	1	0																																																																																																							
成果指標	国の文化財指定・登録数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																																																																			
		実績	1	0	0																																																																																																							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																																																											
	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>																																																																																																											
成果(どのような状態になったか)																																																																																																												

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	26	2,209	0	0			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金	1,000						
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	26	1,209	0	0			主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,718	2,889	1,084	232				
内訳	正規職員(人)	0.22	0.37	0.14	0.03			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,744	5,098	1,084	232				
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H27名勝「本合海」保存活用計画策定費							

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	優れた文化遺産を後世に残していくための取り組みは、文化振興につながる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	現状としてこの事業の実施は適当である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	国の文化財に認定していただくために、国・県の指導を仰ぎながら事務を実施している。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	事業費は0。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	最低限の人員費であり削減の余地はない。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	複数の行政区域に関わる文化財や登録に向けた情報共有の面では連携が可能である。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	登録後の保護・保存・伝承等については、協働の余地がある。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	優れた文化遺産を後世に残していくための取り組みは、文化振興につながる。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)

今後も優れた文化財を後世に残していく取り組みが必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

国の文化財とすべき優れた価値のある新たな文化財の発掘や、県指定の文化財の価値を詳細に調査して国の指定・登録を目指していく必要がある。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長 評価	市内に存在する優れた文化財は、後世に残していくためにも、積極的に国の登録や指定に向けて推進する必要がある。	所属長 評価	市内に埋もれた文化財を発掘し、その価値を調査する必要がある。
今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	市民文化会館管理事業			事務事業コード	323-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	長沢祐二
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市民文化会館設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款4項5目	市民文化会館管理事業費	予算コード	01-100405-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 19 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市民の文化芸術振興を目的としている。	事業内容	指定管理者制度を活用し、演劇教室や歌舞伎公演など、さまざまな文化芸術活動を行う。また、約1000人収容できる大ホールや約300人収容できる小ホールなどを活用し市民文化活動の拠点として運営する。		
対象	利用者 → 市民				
目指す状態	市民が幅広く文化芸術活動を行い、その成果を発表する場として、また、さまざまな文化芸術の推進拠点として施設運営を目指す。				
実施形態			<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	82,373	81,131	84,648				
説明(算式等)			達成率							
活動指標	指標名称	施設稼働率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	40	41	42				40
説明(算式等)			達成率	100.0%	102.5%	105.0%				
成果指標	指標名称	自主事業の入場者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	5,900	4,290	4,780				6,500
説明(算式等)			達成率	90.8%	66.0%	73.5%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	【H27に実施した主な自主事業】									
	①山形寄席 ②細坪基佳ライブツアー ③八神純子コンサート ④ふるさとコンサート ⑤宝くじ文化公演 ⑥クリスマスコンサート ⑦新春神楽 ⑧ほっとステーション ⑨キャッスルサイドコンサート									
【H28に実施した主な自主事業】										
①新BS日本の歌 ②よしもと爆笑まつり ③小山実稚恵ピアノリサイタル ④ふるさとコンサート ⑤新春神楽 ⑥宝塚OGショー「さくら」										
成果(どのような状態になったか)	民間の活力を導入しサービスの向上を図り、コストの軽減化を図るとともに、きめこまやかな管理運営を行なった。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	64,386	72,642	55,709	69,179			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	64,386	72,642	55,709	69,179	0	0	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,093	1,015	1,006	929	0	0	修繕料	5,976	
内訳	正規職員(人)	0.14	0.13	0.13	0.12			指定管理者委託料	40,651
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			使用料及び賃借料	11,599
費用合計(①+②)	65,479	73,657	56,715	70,108	0	0	工事請負費	0	
臨時嘱託等(人)							備品購入費	1,199	
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	各事業を実施し市民の文化芸術振興に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	広く市民に対して芸術文化に触れ活動する拠点として活用されており適当である
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	他部門との連携した事業展開などにより新たな活動を誘発する。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input type="radio"/> 削減の余地がない <input checked="" type="radio"/> 削減の余地がある	空き時間の有効活用(多目的利用)の可能性も検討する
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	指定管理者制度により適正な人員を確保している
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	定住自立圏の地域連携事業による可能性を検討する
	⑧官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	設備の維持更新にかかる官民連携事業の可能性を検討する
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input checked="" type="radio"/> なっていない <input type="radio"/> なっている	市民の文化芸術振興にあつた事業を展開している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の利用率等の向上を主眼とせず施設の持続性について再検討する

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

「公共施設総合管理計画」などの考え方を踏まえ施設の管理活用方針を検討する

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
今後も多様な事業を企画しより多くの市民に芸術文化の振興を図る

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	最上地域唯一の1000人規模の文化施設として、指定管理者と連携を計りながら事業展開していく必要がある。	所属長評価	指定管理者との連携した事業展開により市民への芸術文化振興を図るとともに、施設の持続的可能な施設運営に努める。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名		子ども芸術学校事業			事務事業コード	323-202-63	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち			担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る			担当者	小山 知将
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興			内線	462
事業区分		<input checked="" type="radio"/> 独自事業	<input type="radio"/> 法定事業	<input type="radio"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業	<input type="radio"/> 説明事業
法令根拠							
条例・要綱等							
予算・事務事業名		一般会計	10款4項1目	社会教育総務事業費		予算コード	01-100401-0200
○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)							
○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)							
● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)							

2. 事務事業の概要

目的	子どもたちに表現活動の楽しさを体験させ、文化芸術に親しむ素地を培う場となることを目的とする。	事業内容	市民有志による「新庄子ども芸術学校実行委員会」を組織し、社会教育課が事務局となり実施する。(4部門)	
対象	市内小・中学生		①音楽部門「新庄吹奏楽団ジュニア部」 ②演劇部門「キッズシアターS」 ③表現活動部門「ちやれんこ」 ④造形部門「パレット」	
目指す状態	新庄市長期教育計画に基づき、子どもたちに感情を豊かに表現する楽しさを体験させ、芸術に親しむ機会を設け、その活動を通して地域の文化芸術を振興するため実施する。将来的には受講者の中から芸術の専門家や次の指導者が育ち、地元の芸術文化活動がより活発になる。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学校児童生徒数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	3,233	3,103	2,945	2,819				
説明(算式等) 学校基本調査			達成率								
活動指標	指標名称	延べ開催学習回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	92	49	82					140
説明(算式等)			達成率								
成果指標	指標名称	子ども芸術学校受講児童・生徒数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	48	49	48					50
説明(算式等)			達成率								
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	各団体ごとの実施回数と受講者数										
	①「新庄吹奏楽団ジュニア部」		26	回	15	人					
	②「キッズシアターS」		30	回	5	人					
	③「ちやれんこ」		20	回	18	人					
	④「パレット」		6	回	10	人					
		82	回	48	人						
成果(どのような状態になったか)	子どもたちが芸術文化に親しむ素地を作る場を提供した。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	760	743	800	800			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	760	743	800	800	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,796	2,108	1,393	1,393	0	0	負担金	800
内訳	正規職員(人)	0.23	0.27	0.18	0.18			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	2,556	2,851	2,193	2,193	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	施策である「市民が輝く文化芸術の振興」に合致している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	新規分野の検討、発表会の合同開催、活動周知など、向上の余地がある。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	活動日が不足している状況にあり、削減の余地はない。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	各分野の指導者が集い、実行委員会を組織する形態は適切であると考ええる。
	⑥他自治体と連携できる か	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	活動の周知や、活動場所の提供など、運営に協力していただけるようにする。
	⑧官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	多くの市民の方々が参加できるものにする。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	興味を持ってもらえるような事業になりつつある。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
活動に関して、周知活動の工夫が必要とされる。参加者と活動をしていない生徒間に、活動に対する認識の差異がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

活動費負担軽減のため、施設使用料の減免を行いながら、活動をしている。また、募集活動に関しては、二次募集も踏まえながら行っている。校長会や、学校へチラシを持ち込みながら周知も行っている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
周知活動を工夫し、多くの参加者以外の方でも興味を持ってもらえるようにする。活動の動画を作成し、市のホームページでの掲載や、手軽に参加児童保護者や新庄市公式SNSアカウントでの掲載等を行い、周知活動を推進する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	各部門の活動に興味をもってもらうために、周知・PRを推進する。	所属長評価	周知・PRを推進するとともに、参加意向が高まっているため、受入団体の弱い団体については継続性を考慮した取り組みが必要。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	山形県総合美術展覧会巡回展			事務事業コード	323-203-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	2	互いに学び高め合う生涯学習の推進と豊かな文化芸術の振興を図る	担当者	東海林美紀
	施策名	3	市民が輝く文化芸術の振興	内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項2目	市民プラザ管理事業費	予算コード	01-100402-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市民が文化芸術活動に参加できる機会をつくり、自主的な活動を支援し、豊かな心の育成を図る。	事業内容	市民プラザの指定管理者と市内美術団体との協働により、共有意識を持ちながら、それぞれの立場・役割を尊重しながら効果的な組織体制により実施する。		
対象	新庄・最上地域の住民				
目指す状態	優れた芸術作品の鑑賞機会の提供と、文化芸術活動への参加意欲の高揚を図るとともに、民間(美術関係団体)が主体となり事業を実施し、美術関係団体のネットワークづくりに資する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	新庄市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
	説明(算式等)		実績	37,202	36,894						
活動指標	指標名称	展示作品数(点)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	説明(算式等)		実績	277	234	433				250	
成果指標	指標名称	入場者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	説明(算式等)		実績	1,559	1,407	1,911				1,600	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	入場者数	H23	H24	H25	H26	H27	H28				
	一般	680	668	551	659	654	838	H28開催状況			
	高校	14	0	0	2	41	55	期間:11月2日~11月7日			
	中学	425	738	445	532	594	492	会場:市民プラザ			
	小学	154	404	361	319	98	508	展示数:美術品556点			
	幼稚園	80	112	113	47	20	18				
	計	1353	1922	1470	1559	1407	1911				
成果(どのような状態になったか)	一般鑑賞者数が増加した。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	562	562	562	562			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	562	562	562	562	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	312	312	232	232	0	0	指定管理料として支出	562
内訳	正規職員(人)	0.04	0.04	0.03	0.03			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	874	874	794	794	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	県内最大の美術公募展であり、質の高い芸術作品の鑑賞機会を設けることは 芸術文化レベルの向上に貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	地域作家の作品発表の場でもあり、鑑賞する機会を設けることは適切であ る。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	市および町村への周知徹底を図れば入場者数増が見込める。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	市負担金以外は、入場券収入・パンフレットの広告収入のみであるため削減 の余地がない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者と市内美術団体で実行委員会を組織しており、改善の余地はな い。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	郡内中学校へ鑑賞案内を送付し、芸術鑑賞機会の提供を行っている。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者と市内美術団体で実行委員会を組織しており、協働事業である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	優れた芸術作品に触れることの少ない地域の、芸術鑑賞機会の提供を行って いる。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
委託により事業が実施されている。連携事業として「オープニングミニコンサート」を実施するなど 入場者確保のため工夫した取り組みを行っており、一般鑑賞者数の増加につながった。また、子 ども県展の展示数を大幅に増やし、中学校と小学校高学年の作品は巡回するものすべて展示 するなど、子どもへの鑑賞機会の提供に努め、小学校の鑑賞が増加した。

8. 課題解決に向けた現時点におけ
る取り組み状況

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
年ごとに入場者数の増減はあるが、最上地域の学校には引き続き案内し美術鑑賞の場を提供 する。また、各学校に継続して来場してもらえよう、鑑賞教室の有効性を理解してもらいなが ら、指定管理者と連携した、早めの効果的な周知も必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長 評価	指定管理者への委託事業となっている。広報等については指 定管理者と連携のうえ、小中学校への早めの周知を行うなど、 参加できる環境づくりに努める必要がある。	所属長 評価	指定管理者への委託事業となっている。アンケートを踏まえ、毎 年見直しを行いながら事業展開し鑑賞者数の増加につながっ た。広報等については指定管理者と連携のうえ、小中学校への 早めの周知を行うなど、今後も参加できる環境づくりに努める必 要がある。
今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の 方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	市民参加型スポーツイベント開催事業			事務事業コード	331-101-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺 光
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	472
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	夢と感動を与えスポーツの振興を図る。	事業内容	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭、ゴルフ、いものこマラソン)の大会を開催する。		
対象	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭・ゴルフ・いものこマラソン等)の愛好者及び市民				
目指す状態	各種目(クリテリウム・スポーツレクリエーション祭・ゴルフ・いものこマラソン)を通じて、市民がスポーツを楽しむ機会、スポーツにかかわる機会を提供する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市民	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	37,202	36,904	36,833					
説明(算式等)	人口		達成率								
活動指標	指標名称	大会実施回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	4	4	4					2
説明(算式等)			達成率	200.0%	200.0%	200.0%					
成果指標	指標名称	クリテリウム・スポーツレクリエーション祭・ゴルフ・いものこマラソン・市総体・地域スポーツクラブ参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	3,623	3,114	3,112					4,300
説明(算式等)			達成率	84.2%	72.4%	72.3%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	平成28年度大会参加者数内訳										
		スポーツレクリエーション祭	368名	参加料・市負担金で運営							
		市民ゴルフ大会	42名	参加料・協賛金で運営							
		いものこマラソン	191名	参加料のみで運営							
		クリテリウム新庄大会	144名	参加料・補助金・協賛金で運営							
		市総合体育大会	2,023名	市体育協会に委託 ※16種目							
	地域スポーツクラブ	344名	参加者内訳(一般:327名、短期:17名)								
成果(どのような状態になったか)	市民のいきがいづくりと生涯スポーツの振興につながった。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	30	302	30	30			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	30	302	30	30	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	1,562	2,264	2,322	1,161	0	0	県レクリエーション大会負担金	30
内訳	正規職員(人)	0.20	0.29	0.30	0.15			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,592	2,566	2,352	1,191	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H27県大会が開催され、市の負担金もあわせて、増額になったため。							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民のいきがいくりと一定の市民ニーズに応える生涯スポーツの振興につながっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	生涯スポーツ振興の施策として適切である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	スポーツプログラムや広報活動等を適宜見直し、参加者の増に務める必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	ほぼ参加料で賄っている状態であり、削減すればイベント自体は行えない。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	現状においても、各関係団体との協働により運営しているが、今後はスポーツ団体に限らず、多種多様な団体と協働を進めていく必要がある。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	各大会プログラムについて、管内町村との合同開催も可能。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	現在も各関係団体との協働により運営している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	様々なスポーツ・レクリエーション種目の充実に努めているが、市民のニーズに応える内容となっているかは検討が必要である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
事業の継続性もあるが、全体を通して参加者の固定化が見られ、新規の参加者が少ない状況であり、事業のリニューアルや既存事業自体の実施の可否についても検討すべきである。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

今後の各大会運営の在り方について、関係団体と協議・検討を重ねていく。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
先進地の事例を参考にしながら、効果的なPRや新しいスポーツプログラムの開発等、地域住民がより参加しやすい大会の実施に向け、各関係団体と協議・検討を重ねていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	各関係団体と協議・検討を重ね、今後も市民のニーズに応じたスポーツイベントの開催やスポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れるような環境整備に努めていく。	所属長評価	各関係団体と協議・検討を重ね、今後も市民のニーズに応じたスポーツイベントの開催やスポーツプログラムの提供を行い、健康で豊かな生活が送れるような環境整備に努めていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, budget, and evaluation status. Includes details for 'New City Sports Association Operating Fee Subsidy'.

2. 事務事業の概要

Summary table with columns for purpose, target, status, and implementation details. Includes 'Promoting sports in the city' and implementation methods like 'Direct operation'.

3. 実施状況

Implementation status table with columns for indicators, years (H26-H31), and H32 outlook. Includes 'Number of sports award recipients' and a detailed 'Supplementary explanation' section.

4. 投入資源

(単位:千円)

Resource input table with columns for years (H26-H31) and categories like 'Operating expenses', 'Personnel costs', and 'Total costs'.

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	様々な競技団体等との連携を図ることにより、市民のスポーツ活動への多様なニーズに応えることができる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の生涯スポーツ振興における要の一つであるため、適当である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	市との連携を強め、スポーツ振興を図っていく。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	削減を実施するとサービスの質が低下するため、削減の余地がない。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業が補助金の交付である。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市の体育協会である。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	事業が補助金の交付である。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	団体は収益事業を実施できる団体であるが、利潤追求ではないため、補助金による事業支援は必要である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
市体協は競技スポーツの強化には取り組んでいるが、運動が苦手な小・中学生等にも運動に興味を持たせよう事業も市と連携しながら図っていく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

効果的な支援及び支援体制のあり方等について協会とともに検討している。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
市と市体協の連携強化。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	市体協は、市のスポーツ振興の一翼を担うとともに要である。市と市体協との連携及び市から市体協への効果的な支援について検討していく必要がある。	所属長評価	市体協は、市のスポーツ振興において欠くことのできない団体である。これまでどおり、財政支援とともに、緊密な連携によって市の施策遂行に向けて事業を実施していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	新庄市総合体育大会委託事業			事務事業コード	331-103-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	● 独自事業 ○ 法定事業 ○ 内部事業			評価区分	● 評価事業 ○ 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	市民の体力と競技力の向上を目指し、各競技のスポーツ振興を目的とする。	事業内容 (一財)新庄市体育協会に全面委託し、競技団体の自主性を重んじながら事業を実施する。
対象	市民	
目指す状態	市民の体力と競技力の向上を目的とする事業であり、各競技団体の一層の自主性による大会の充実を目指す。	
実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	大会参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	2,003	1,822	2,023				
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	大会種目数(種目)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	17	15	16				17
	説明(算式等)		達成率	100.0%	88.2%	94.1%				
成果指標	指標名称	大会参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	2,003	1,822	2,033				2,500
	説明(算式等)		達成率	80.1%	72.9%	81.3%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	<p>■新庄市総合体育大会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇新庄市体育協会に加盟している22団体の内、16団体が実施。 ◇体育協会が年2回実行委員会を行い、事業計画と予算について協議し、各競技団体が主催している。 ◇予算について、主に各競技団体への報償費・入賞メダル・楯・大会運営の印刷製本費・消耗品費など。 									
成果(どのような状態になったか)	競技スポーツの振興に寄与することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	848	848	848	848			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	848	848	848	848	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	625	547	619	619	0	0	新庄市総合体育大会事業委託料	848
内訳	正規職員(人)	0.08	0.07	0.08	0.08			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,473	1,395	1,467	1,467	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	各競技団体の自主的な運営により、生涯スポーツの振興に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	(一財)新庄市体育協会の加盟団体であり適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	市総体の実施内容が市体協加盟団体によって差が生じている。
	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	各競技団体の負担が厳しくなるため、削減の余地がない。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	(一財)新庄市体育協会への業務委託事業である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市の総合体育大会である。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	(一財)新庄市体育協会への業務委託事業である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の競技スポーツの活性化に寄与している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
市体協加盟団体による大会が開催され、競技者のレベルアップに寄与しているが、競技団体に加入していな多数の市民の健康・体力増進につながるような取組も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

特になし。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
実行委員会等で新たな大会運営・実施を視野に入れた検討が必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	市総合体育大会として、競技スポーツだけでなく広く市民が参加できるような、生涯スポーツの面も含めた大会の開催も検討していく必要がある。	所属長評価	専門的な競技スポーツだけでなく、軽スポーツであるエアバレー大会を開催したことにより、広く市民が参加できる競技も実施することができた。今後も市民が気軽に参加できる種目について検討していく必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ育成事業			事務事業コード	331-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	栗田 浩
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項11目	職員給与費	予算コード	01-100411-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市民がスポーツ活動に参加する場を提供する。	事業内容	新庄21地域スポーツクラブの自立自存を、施設使用料の減免により支援する。		
対象	市民				
目指す	これまで、行政側が主導していたスポーツ教室等を住民主体の「総合型地域スポーツクラブ」で推進し、生涯スポーツの振興を目指す。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	地域総合型スポーツクラブの設置数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
	説明(算式等)		実績	1	1	1				1
			達成率							
活動指標	指標名称	新庄21地域SC短期教室の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	説明(算式等)		実績	46	26	17				100
			達成率	46.0%	26.0%					
成果指標	指標名称	新庄21地域SCの年度末会員数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	説明(算式等)		実績	407	367	322				450
			達成率	90.4%	81.5%					
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■新庄21地域スポーツクラブ(短期教室除く) ◇会員数……男~66人 女~256人 合計322人 ◇クラブ種目……健康クラブ、ソフトテニス、ウォーキング、エアロビクス、フラダンス等、全19コース ◇市では、施設使用料の減免処置を当初より取っている。									
成果(どのような状態になったか)	子どもから高齢者まで、市民の誰もが気楽に楽しめるスポーツプログラムを通し、生涯スポーツの振興と市民の健康増進を図った。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	0	0	0				歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	781	1,093	1,161	774	0	0		
内訳	正規職員(人)	0.10	0.14	0.15	0.10			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	781	1,093	1,161	774	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民が様々なスポーツに触れられる場を提供できており、生涯スポーツの振興を図る機会となっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市民の多様なニーズに一定応える形となっている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	会員数の増加を図るための広報活動に加え、より多くのニーズに応えるようなプログラムの充実について検討する余地がある。
	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	会費を主とした受益者負担により運営しているため、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	会費を主とした自主自立の運営となっているが、スポーツや健康福祉事業の委託等、安定した財源の確保の取り組みも必要である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	教育事務所を事務局とし、クラブ活動全般に対する支援を行うための「広域スポーツセンター」を設置し、各種支援事業を実施している。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	自主自立による運営を主としているが、スポーツ関連事業の委託や事業実施に伴う広報活動等を協働により進めている。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	既存のスポーツプログラムを実施・継続しているが、今後はその都度市民のニーズに応える新しいプログラムの開発やリニューアルの検討も必要。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
スポーツ振興くじ助成金の交付が平成26年度をもって終了し、会費等の見直しにより自立に向け対処しているが、会員数の減少もあり、安定したクラブ運営のためには、今後も市の支援は必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

補助金等の直接的な助成はないが、施設使用料の減免措置や市民体力テストの実施委託によりクラブへの財政的支援を行っている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
スポーツクラブの自立への取組について、情報を共有しながら、必要な支援方法を検討する。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	スポーツクラブは、市の生涯スポーツ推進の一翼を担っており、クラブとして自主自立に向け自助努力を図っているが、安定かつ魅力あるクラブ運営が可能になるまで、市の支援を継続していく必要がある。	所属長評価	スポーツクラブは、市の生涯スポーツ推進の一翼を担っているが、会員数は年々減少している。安定かつ魅力あるクラブ運営が出来るよう市の支援を継続して、会員増加に向けた取り組みが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市体育館管理運営事業			事務事業コード	331-301-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項12目	体育施設の管理運営事業費	予算コード	01-100412-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	スポーツを行う場を市民に提供し、競技スポーツ力の向上、市民の健康増進など地域のスポーツ振興を図る。	事業内容	体育館を整備し市民に貸し出す。また、市のスポーツ振興の中心となり事務事業を行う。		
対象	体育館及びその利用者				
目指す状態	市体育館が市のスポーツ振興におけるシンボリック的存在となることを目指す。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	施設利用者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	43,844	8,944	35,218				
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	利用団体数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	1,641	419	1,303				2,000
	説明(算式等)		達成率	82.1%	21.0%	65.2%				
成果指標	指標名称	利用者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	43,844	8,944	35,218				55,000
	説明(算式等)		達成率	79.7%	16.3%	64.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■週1回以上定期的に使用している団体 ◇卓球……新庄卓球愛好会、かむてんスポーツクラブ ◇バドミントン……マイペース、新庄ママさんバドミントン、ちみどろ、奥羽JTB、ABCクラブ、新庄地区バドミントン、山形県職員厚生課、日新バドミントンスポーツ少年団、COLORS、かむてんスポーツクラブ ◇バレーボール……COLORS ◇ソフトバレー……かむてんスポーツクラブ ■大会等を開催している団体……新庄地区卓球協会、新庄アマチュアボクシング協会、新庄地区バドミントン協会、新庄テニス協会、新庄地区ハンドボール協会、新庄地区サッカー協会、中体連、高体連、他									
成果(どのような状態になったか)	屋内スポーツの多種多様な活動を行える場となり、市民の健康増進や競技力の向上に貢献した。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	23,842	17,293	19,065	18,493			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担	3,695	1,012					
	その他特財							
一般財源	20,147	16,281	19,065	18,493	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 … ②	703	703	697	697	0	0	体育館指定管理委託料	19,065
内訳	正規職員(人)	0.09	0.09	0.09	0.09			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	24,545	17,996	19,762	19,190	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
耐震補強工事完成後、アリーナ内の結露による水滴落下現象が発生して対応に苦慮した。また、耐震補強工事によって施設の修繕が必要な箇所への整備は図られたが、備品等のメンテナンス・補充が必要な状態にある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

体育施設全体において優先順位を付けながら、修繕や備品等の整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
結露解消に向けて計画的な修繕を実施した。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者に満足していただける施設の管理運営を行っていくことが必要である。	所属長評価	施設の耐震補強工事後、結露問題が発生して利用者には大変不便をかけた。今後とも施設の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者に満足していただける施設の管理運営を行っていくことが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市民スキー場管理事業			事務事業コード	331-302-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項12目	市民スキー場管理運営事業費	予算コード	01-100412-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。	事業内容 公の施設の適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を適用。 【利用できる施設内容】 ・Aコース 300m・21度 ・Bコース 400m・14度 ・Cコース 280m・7度 ・ナイター照明あり ・全蔵四季の家
対象	市民スキー場及びその利用者	
目指す状態	市民スキー場の管理運営と環境整備に努め、市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。	実施形態 <input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	施設利用者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	12,864	10,632	9,642				
	説明(算式等)		達成率							
活動指標	指標名称	開場日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	65	59	51				65
	説明(算式等)		達成率	100.0%	90.8%	78.5%				
成果指標	指標名称	利用人数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	12,864	10,632	9,642				15,000
	説明(算式等)		達成率	85.8%	70.9%	64.3%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	■平成28年度市民スキー場管理事業 ◇スキー場のリフトは、索道事業法に基づき、輸送の安全確保を第一に管理している。 ◇市内の各小学校でも、スキー授業でスキー場を利用している状況。									
成果(どのような状態になったか)	利用人数は天候に影響されるが、初級者向けのゲレンデであり家族連や初心者(特にスノーボード)の利用者が多数見受けられた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	30,593	31,352	27,046	27,007			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担	4,692	3,509					
	その他特財							
一般財源	25,901	27,843	27,046	27,007	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	937	859	852	697	0	0	新庄市民スキー場指定管理業務委託料	27,046
内訳	正規職員(人)	0.12	0.11	0.11	0.09			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	31,530	32,211	27,898	27,704	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の冬季スポーツ振興の中心施設として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の修繕や備品等のメンテナンス・補充が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
計画的な修繕や備品整備。

9. 所属長評価及び今後の方向性

	前回の評価	今回の評価(H28実績評価)
所属長評価	利用者の安全安心に配慮した管理・運営が必要である。計画的な修繕を行っているが、圧雪車の更新に向けた検討を行う必要がある。また、利用者数を増加させる取組も検討していく必要がある。	指定管理者が、自主事業として児童向けにスキー教室を実施し施設の利用拡大を図った。少しずつではあるが、冬季間に雪に親しむ環境を整えることができてきた。今後とも利用者の安全安心に配慮した管理・運営が必要である。また、引き続き圧雪車の更新に向けた検討を行う必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 目指す, 事業内容, 実施形態, etc.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標, 年度 (H26-H31), H32見込, H32計画, H32目標, etc.

Table for 補足説明 (Index of internal notes or supplementary data, business content, etc.)

Table for 成果(どのような状態になったか) (Achievements/Status)

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for 年度 (H26-H31), 事業費, 内訳, 費用合計, etc.

(PLAN) 計画 (DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設の一つとして、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
計画的な修繕や備品整備。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者に満足していただける施設の管理運営を行っていく必要がある。また、平成30年度の天皇賜杯の開催に向け、人工芝の修繕及びスピードガンの設置を実施する必要がある。	所属長評価	利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者に満足していただける施設の管理運営を行っていく必要がある。また、平成30年度の天皇賜杯の開催に向け、施設の整備を進めていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	武道館管理事業			事務事業コード	331-304-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	● 独自事業 ○ 法定事業 ○ 内部事業			評価区分	● 評価事業 ○ 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項12目	体育施設の管理運営事業費	予算コード	01-100412-0100
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	事業内容	公の施設の適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を適用。		
対象	武道館及びその利用者				
目指す状態	武道館の管理運営と環境整備に努め、市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。		実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	施設利用者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
	実績		実績	14,909	14,622	10,697				16,000	
活動指標	指標名称	開館日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
	実績		実績	343	344	344				343	
成果指標	指標名称	利用人数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
	実績		実績	14,909	14,622	10,697				16,000	
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	【平成28年度実績】										
	全館			柔剣道場 全面			弓道場 半面				
	利用団体	6 団体	156 団体	245 団体	306 団体						
利用人数	515 人	4,183 人	2,984 人	3,015 人							
成果(どのような状態になったか)	耐震補強工事によって柔剣道場は8月から10月まで使用できなかったが、体を動かす場の提供により市民へ爽快感、達成感、相互の連帯感や楽しさ、喜びをもたらした。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費 ... ①	5,726	6,452	4,581	4,530			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担	1,182	1,223						
	その他特財								
一般財源	4,544	5,229	4,581	4,530	0	0	主な歳出の内訳		
人件費 ... ②	703	703	697	697	0	0	武道館指定管理委託料 4,581		
内訳	正規職員(人)	0.09	0.09	0.09	0.09				
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741					
費用合計(①+②)	6,429	7,155	5,278	5,227	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設の一つとして、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
計画的な修繕や備品整備。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者に満足していただける施設の管理運営を行っていく必要がある。28年度には耐震補強工事を行った。	所属長評価	今後とも利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者に満足していただける施設の管理運営を行っていく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	屋内ゲートボール場管理事業			事務事業コード	331-305-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等	新庄市屋内ゲートボール場設置及び管理に関する条例				
予算・事務事業名	一般会計	10款5項12目	体育施設の管理運営事業費	予算コード	01-100412-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	事業内容	公の施設として適正な管理を確保しつつ、住民サービスの質の向上を図るため、指定管理者制度を適用。		
対象	屋内ゲートボール場及びその利用者				
目指す状態	屋内ゲートボール場の管理運営と環境整備に努め、市民一人ひとりが楽しめる、親しめるスポーツライフの実現を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	施設利用者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																													
			実績	2,530	1,788	0				0																													
活動指標	指標名称	開場日数(日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																													
実績	304	292	0																																				
成果指標	指標名称	利用人数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																													
実績	2,530	1,788	0					0																															
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																						
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="10" style="text-align: center;">【平成28年度実績】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市内の利用者</td> <td colspan="8">0 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市外の利用者</td> <td colspan="8">0 人</td> </tr> </table>										【平成28年度実績】										市内の利用者		0 人								市外の利用者		0 人						
【平成28年度実績】																																							
市内の利用者		0 人																																					
市外の利用者		0 人																																					
成果(どのような状態になったか)	平成28年度は施設の供用を休止した。																																						

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	727	704	332	0			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	727	704	332	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	781	859	852	0	0	0	修繕費	121
内訳	正規職員(人)	0.10	0.11	0.11			草刈り業務委託料	11
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741			屋内ゲートボール場用地借上料	200
費用合計(①+②)	1,508	1,563	1,184	0	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
有効性	③成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	○ 削減の余地がない ● 削減の余地がある	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の供用を休止し、28年度末で施設を廃止した。廃止後の施設の建物及び土地の利活用について検討していく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

特になし。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
普通財産として、市公共施設等総合管理計画に基づいて対処していく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	今度は、適正に施設を管理してきたが、年度末に指定管理者からの申し出により、平成28年度の指定管理者の指定を取り消し、施設の供用を休止した。28年度以降の施設の利活用について検討し、早期に方向性を示す必要がある。	所属長評価	今度は指定管理者の指定を取り消し、施設の供用を休止した。その後、年度末において施設を廃止して普通財産とした。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, etc. Content includes '市民プール管理運営事業' and '331-306-63'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことのできる豊かなスポーツライフを送るため' and implementation status checkboxes.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32見込. Rows include '施設利用者', '開場日数(日)', '総利用人数(人)' and a '補足説明' section with a grid for detailed data.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns for years H26-H31. Rows include '事業費', '内訳', '人件費', '費用合計', and '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市の夏季スポーツ振興の中心施設の一つとして、市民のスポーツ活動への意識を高めている。一方で、夏季に水に親しむことができる施設であり、市民の余暇にも貢献している。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設の整備を行い、より快適で安全な施設として提供すべきである。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の老朽化が進行しており(特にウオーター・スライダー)、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
計画的な修繕や備品整備。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	供用期間が短い施設であり、費用対効果の面も検討を要するが、利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者にも満足していただける施設の管理運営を行っていくことが必要である。	所属長評価	供用期間が短い施設であるが、屋外プールであり施設の老朽化が著しい施設である。特に利用者が幼児から児童が中心となり、利用者の安全性の確保に細心の注意を図りながら施設の管理運営を行っていくことが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 事務事業コード, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 事業期間, etc.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 実施形態, 事業内容, etc.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標, 年度 (H26-H31), H32見込, H32計画, H32目標.

Table for 補足説明 (Index of internal notes or supplementary explanations) with columns for various facility types and user counts.

成果(どのような状態になったか) 施設の利用者数は前年並みか減少傾向にあるが、平成26年度にテニスコートの改修工事を行ったことにより、利用者が飛躍的に増加している。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for 年度 (H26-H31), 事業費, 内訳, 事業費の算出根拠(H28), 事業費増減の理由.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多種多様なスポーツ活動で施設を利用しているため、目的が施策と結びついているといえる。
	②対象や目指す状態が適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市のスポーツ振興の中心施設として、市民のスポーツ活動への意識を高めている。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	施設整備を行い、更なる競技活動を行える場として提供すべきである。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利用者が安全に活動を行うために定期的な修繕が必要であり、削減は難しい。
	⑤人員や実施形態は適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定管理者制度で効率的な管理運営を実施しているため、最も有効的な手法であると考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者による施設の管理運営を実施している。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	指定管理者制度が、公の施設の管理を住民のニーズに、より効果的、効率的に対応することを目的としており、その制度を活用して施設の管理運営を実施している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の老朽化が進行しており、備品等のメンテナンス・補充も必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

優先順位を付けながら、施設の修繕、備品等の修繕・整備を行った。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
計画的な修繕や備品整備。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者満足していただける施設の管理運営を行っていくことが必要である。	所属長評価	今年度は陸上競技場の大規模改修が実施された。今後とも計画的に施設の修繕等を実施し、利用者の安全・安心を最優先に、公平・公正な運営のもと利用者満足していただける施設の管理運営を行っていくことが必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	市体育施設整備事業(全体)			事務事業コード	331-308-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	1	多様なニーズに応える生涯スポーツの振興	内線	471
事業区分	● 独自事業 ○ 法定事業 ○ 内部事業			評価区分	● 評価事業 ○ 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項12目	体育施設の管理運営事業費	予算コード	01-100412-0100
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	● 単年度繰返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	誰もが生涯にわたり、スポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフを送るため。	事業内容	施設の維持管理運営 ・維持管理、修繕、工事		
対象	新庄市の体育施設				
目指す状態	施設機能の維持、安全確保など。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	新庄市の体育施設数及び屋内ゲートボール場	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
	実績			13	13	13				13
	達成率									
活動指標	指標名称	修繕・工事実施箇所数(箇所)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	実績			34	29	22				40
	達成率			85.0%	72.5%	55.0%				
成果指標	指標名称	全施設利用者総数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	実績			139,503	118,038	134,000				155,000
	達成率			90.0%	76.2%	86.5%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	<p>■平成28年度実績(主な工事・修繕箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民球場電動シャッター修繕 市民プールスライダー階段及びインターロッキング修繕 陸上競技場脇公衆便所洋風便器取替修繕 山屋セミナーハウス石油暖房機交換修繕 陸上競技場大規模改修工事 体育館換気装置設置工事 福田運動広場ファールポール交換修繕 市体育館東側屋根修繕 市民スキー場ベアリフト索受装置部品交換修繕 緊急修繕等 武道館耐震補強工事 体育館棟換気設置工事 									
成果(どのような状態になったか)	体を動かす場の提供により、市民へ爽快感、達成感、相互の連帯感や楽しさ、喜びをもたらした。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	194,781	450,947	500,138	25,498			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財	54,400						
一般財源	140,381	450,947	500,138	25,498	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	1,796	2,108	2,167	1,780	0	0	体育施設の管理運営事業費 修繕料	7,005
内訳	正規職員(人)	0.23	0.27	0.28	0.23		体育施設の管理運営事業費 工事請負費	488,299
1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			市民スキー場管理運営事業費 修繕料	4,439
費用合計(①+②)	196,577	453,055	502,305	27,278	0	0	山屋セミナーハウス管理運営事業費 修繕料	395
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	多くの市民が施設を利用することにより、健康や体力づくりに貢献している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	利用しやすい施設にするために整備することは、市民のニーズでもあり、適当であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	未整備・未改修箇所が多数あるため、向上の余地はない。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現在でも利用者からの整備・改修のニーズが多いため、削減の余地はないと考えられる。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	現在でもギリギリの状況で実施しており、改善の余地はないと考えられる。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	市有施設である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	利用しやすい施設にするために施設を整備することは、市民のニーズである。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
施設の老朽化により、財政状況に応じた計画的な修繕等が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

利用者から施設に関するアンケートやヒアリング調査を実施し、施設の整備に反映させている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
財政状況に応じた計画的な修繕等の実施。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	利用者の安全・安心を最優先に考え、競技力の向上はもとより、市民の健康増進にも寄与することから長期的な整備計画のもと、施設の充実を図る必要がある。	所属長評価	今後とも利用者の安全・安心を最優先に考え、競技力の向上はもとより、市民の健康増進にも寄与することから長期的な整備計画のもと、施設の充実を図る必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, budget, and evaluation criteria. Includes details for '山屋セミナーハウス管理事業'.

2. 事務事業の概要

Table with columns for purpose, target, status, and implementation details. Includes '山屋セミナーハウス及びその利用者'.

3. 実施状況

Table with columns for indicators (利用者数, 開場日数) and years (H26-H31). Includes a detailed '補足説明' section on facility usage.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table showing financial resources with columns for years (H26-H31) and categories like '事業費', '人件費', and '費用合計'.

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	スポーツ合宿及び学校教育や社会教育といった分野での活用や様々な交流事業など幅広く活用できる施設の維持管理となっている
	②対象や目指す状態が適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	施設の利用促進を図るため、宿泊機能のPRも含め、管内のみならず、管外への幅広い周知が必要である。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	利用料金制の導入後の検証が必要となる。利用者は増加しているが、宿泊者数が減少している。
	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	施設を安全に管理する上で削減の余地は無い。
効率性	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	今後も適切な人員配置・管理運営体制の向上について競議・検討を重ね、指定管理者制度の充実に努めていく必要である。
	⑥他自治体と連携できるか	● できない ○ できる	直接的な管理・運営は難しいが、管内体育施設の機能紹介等について連携して行うことは可能。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	指定管理者制度の範疇ではあるが、地域が主体となった有志組織により管理・運営されている。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域が主体となった有志組織により管理・運営されており、地域コミュニティの活性化に貢献している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
地域が指定管理者となり、特色ある自主事業や課所管事業について連携して取り組むことにより、施設の機能や利便性についてPRする機会を得ることができた。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

指定管理者を交えた連絡調整会議において、指定管理上の課題や要望の把握に努めているほか、日常より、利用者の利便性向上のため、指定管理者との情報交換の機会を設けている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
利用者数は増加してはいるが、冬期間を含め、時期によっては利用者数が落ち込むことから、宿泊機能も含め、利用者増につながるPRや自主事業の企画・運営について、指定管理者と協議・検討を重ねていく。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	適正な管理・運営を図るため、指定管理者制度については引き続き検証を重ねる。宿泊者数が減少しており、地域が主体となった自主事業の企画や宿泊機能の強化やPRに努めていく必要がある。	所属長評価	地域の方々が組織化し、指定管理者として施設に愛着を持ちながら管理・運営を行ってらっている。懸案となっている入浴設備やバリアフリー化など施設の機能強化については、市体育施設全体のバランスを考えながら実施していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with columns for project name, code, objectives, budget, and schedule. Includes details for '山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チーム強化事業'.

2. 事務事業の概要

Summary table with columns for purpose, target, status, and implementation status. Includes '山形県縦断駅伝競走大会において、上位入賞を果たし、市民に勇気と感動を与える。'

3. 実施状況

Implementation status table with columns for target name, year, and performance. Includes '山形県縦断駅伝競走大会新庄・最上チーム' and '強化練習(合宿)回数(回)'.

4. 投入資源

(単位:千円)

Resource input table with columns for year, budget, and personnel. Includes '事業費' and '人件費' sections.

(PLAN)計画 (DO)実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	○ 結びついている ● 見直しの余地がある	総合タイムは向上しているが、総合順位を落としている。他のチームの選手強化以上に強化を図っていかなければならない。
	②対象や目指す状態が適当であるか	○ 適切である ● 見直しの余地がある	各所属選手の勤務状況と練習スケジュールが上手く調整できない。選手のコンディショニングを整える必要がある。
有効性	③成果の向上余地がないか	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	選手の練習環境を整える事が、できると考える。陸上競技場の全天候型の改修に伴い、練習環境が整えられると練習効率よく、消化できると考える。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	選手から自己負担を徴収しながら、合宿、遠征などを行っている。事業費の確保をしていきたい。
	⑤人員や実施形態は適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	各町村の担当者の協力をもらいながら、事業を継続している。市の担当者が新庄最上チームのマネージャーをしているので、外部団体等への協力依頼も考えながら行っていきたい。
	⑥他自治体と連携できるか	○ できない ● できる	体育協会等と連携も図りながら、マネジメントをしていく事が可能と考える。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	地元の企業からの協賛金も、もらいながら事業を継続している。更に、チーム協力をしてくれる企業を探す事も可能と考える。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の方々の興味・関心をもっといただくような事業になっている。地域住民の応援を結果に繋げていく。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
<p>前回大会(第61回)から総合順位を2つ上げ、約7分の短縮を図る事ができた。他のチームの強化も著しい中、現保有選手の中で、各自結果に繋がる走りをしてくれた。チームも目標である入賞ライン(6位)までは、10分圏内であり、3日間の中でのレースの中でのタイム差と考えると、1人あたり10"程度の走力向上を図る事ができれば、更に上の順位での勝負を行う事が可能となる。通年通しての、大会、記録会参加、合宿の参加を図る事で、選手のモチベーションの維持、又、走力向上につなげていきたい。</p>

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

<p>強化対策事業第8期目に入り、強化選手が1人減の状態である。有力な選手を勧誘し、強化選手の2人体制にしていく。また、ジュニア選手の育成の中で、固定した選手での指導ではなく、チーム内の一般選手の中で、積極的に声掛けを行い、ジュニア選手との関わる機会を多くしていく必要がある。</p>
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
<p>選手の走力を向上、又は、モチベーションを維持するためにも、大会、記録会参加、合宿の参加を図っていきたい。</p>

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	<p>体育協会、新庄地区陸協との連携を図りながら強化対策事業を進めていく必要がある。財源に関しても、市町村からの法令外負担金だけでなく、後援会・地元企業の協賛金を利用し、支援部隊も充実させる必要がある。</p>	所属長評価	<p>各町村担当者からの協力と、体育協会、地区陸協との連携を図りながら事務局機能を整備し効率的な強化対策を進めていく必要がある。法令外負担金だけでなく、地元企業の協賛金や新たな財源確保と応援体制の充実を図り、新庄・最上の活性化につなげていく必要がある。</p>
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性理由等				
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名		陸上競技長距離強化事業				事務事業コード	332-102-63	
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち				担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する				担当者	渡辺 光
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興				内線	472
事業区分	● 独自事業		○ 法定事業	○ 内部事業	評価区分	● 評価事業	○ 説明事業	
法令根拠								
条例・要綱等								
予算・事務事業名	一般会計	10款4項11目	社会体育総務事業費			予算コード	01-100411-0200	
事業期間	○ 単年度		事業年度	平成	年度	(1年限りの事業)		
	○ 期間限定		始期	年度	～ 終期	年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度	平成	年度	～	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	陸上競技の普及・底辺拡大(競技者)と県ジュニア駅伝大会において上位入賞を果たすことを目的とする。	事業内容	伝統ある新庄ロードレース大会を開催運営し、最上地域内の小・中学校児童生徒が長距離を競い、高校・大学で活躍しうる選手を発掘する。また、県ジュニア駅伝に出場し、市内の小・中学校の陸上長距離の強化を図る。		
対象	市内の小・中学校の児童・生徒及び一部最上地域内の小・中学生				
目指す状態	スポーツの基本である、走ること、持久力と精神力を養うための大会運営と大会参加により、体力の向上と陸上長距離の底辺拡大を図る。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	市内小中学生	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	6,281	6,064	5,793				
説明(算式等)	達成率									
活動指標	指標名称	新庄ロードレース大会の参加者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	234	294	244				
説明(算式等)	達成率		78.0%	98.0%	81.3%					
成果指標	指標名称	県市町村対抗ジュニア駅伝大会の新庄市チーム(男女)順位・上位順位の方	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	10	11	4				
説明(算式等)	達成率									
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	H28年度実績									
	■新庄ロードレース大会									
	参加者・・・小学生185人 中学生43人 高校生13人 一般3人 計 244人									
	最上郡内の小・中・高校・スポーツ少年団に大会開催について案内を送付									
■山形県市町村対抗ジュニア駅伝大会										
男子の順位・・・ 5位(昨年11位)										
女子の順位・・・ 9位(昨年11位)										
成果(どのような状態になったか)	ロードレース開催を通じ、小・中・高校の競技力向上に繋がった。また、ここ数年、山形県市町村対抗ジュニア駅伝大会においては、入賞を果たしているほか、大会経験者が県縦断駅伝の中高校生メンバーに選出されるなど、ジュニア育成の機会としての役割を果たしている。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	245	275	286	230			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
一般財源	245	275	286	230	0	0	主な歳出の内訳		
人件費・・・②	1,484	3,748	3,406	4,180	0	0	山形県ジュニア駅伝協大会新庄市実行委員会負担金	230	
内訳	正規職員(人)	0.19	0.48	0.44	0.54			新庄ロードレース大会負担金	56
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	1,729	4,023	3,692	4,410	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)									

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由	(評価の判断理由を記述する)
要	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある		ジュニア駅伝を経て、中総体、高校等で、活躍している選手が多くいる。県縦断駅伝の中校生メンバーの選出など競技力向繋がっている。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある		新庄最上地区の陸上競技の底辺拡大と競技力の向上を目的とするために必要である。
効	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある		競技運営面において、関係団体と協議・検討を重ねる必要がある。
率	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある		現在が最低限な事業費であり、競技内容及び、運営面での改善を図るのであれば、事業費の増が必要である。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある		事業費も限られる中、関係団体との調整業務も含め、最低限の人員である。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる		体育協会、新庄地区陸協との連携を図りながら事業を進めていく事ができる。
	⑧官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる		体育協会、新庄地区陸協との連携を図りながら事業を進めていく事ができる。
	⑨地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている		県縦断駅伝メンバーの選出に伴い、ジュニア選手の育成事業となっている。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
新庄ロードレース大会の拠点となる陸上競技場が改修になり、より大会の盛り上がりも必要となってくる。大会運営だけでなく、集客効果が得られるようなイベント等も企画しながら大会を盛り上げていきたい。 ジュニア駅伝競走大会においては、スポーツ指導員の指導はもちろん、新庄最上駅伝チーム選手の指導を仰ぎながら練習内容の充実を図りたい。また、他の町村のチームとの合同練習会も企画しながら、強化練習を行っていく必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

新庄ロードレース大会においては、地元の高校生の協力をもらいながら大会運営が円滑にできるように努めた。 ジュニア駅伝競走大会については、計画的なメニューを立て、練習を行い、地元高校生選手を練習パートナーとして配置し、練習を行う事ができた。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
新庄ロードレース大会においては、参加者が年々減少傾向である。大会の企画・運営・マネジメントから多くの選手に大会参加をしてもらえるような準備が必要である。 ジュニア駅伝については、他の部活動との兼合いもあり、練習参加、大会参加が難しい状況である。保護者、学校を連絡を密に行い、選手推薦をお願いしていきたい。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	競技の専門性から、地区陸協・駅伝新庄・最上チームと連携・協力し、ジュニア育成については、県縦断駅伝への参加等、具体的な目標を持たせるなど効果的に強化を進めていく必要がある。 新庄ロードレース大会においては、地区を代表する競技性の高い大会であり、県協会所属の強化選手の招聘等、プログラムを工夫しながら魅力ある大会運営に努めていく。	所属長評価	ジュニア育成と県縦断駅伝への選手選出を見据えた強化が必要である。 新庄ロードレース大会においては、陸上競技場改修とあわせて、企画運営、イベントの準備もしていき、多くの選手参加となる大会にしていかなければならない。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	(社)山形県スポーツ振興21世紀協会負担金			事務事業コード	332-103-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺政紀
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興	内線	471
事業区分	● 独自事業 ○ 法定事業 ○ 内部事業			評価区分	● 評価事業 ○ 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款5項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	○ 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	○ 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	● 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	県内の一流選手の活躍と彼らとのふれあいによって、県民(市民)のスポーツ振興を図る。	事業内容	負担金の支出と会員の拡大によって、協会及びその事業を支援する。		
対象	公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会				
目指す状態	県内の一流選手の活躍と彼らとのふれあいによって、競技者の能力向上を図り、次世代の選手育成に繋げる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担	<input type="checkbox"/> 市民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理
			<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()	

3. 実施状況

対象指標	指標名称	会社	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
活動指標	指標名称	協会歳出決算(百万円)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	実績		実績	175	203	203				1,754
成果指標	指標名称	都道府県対抗女子駅伝大会の山形県チーム順位(位)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	実績		実績	24	31	38				10

(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)

◇サッカー事業
 ・地域スポーツ振興に関する事業・・・県内各地のサッカー振興に貢献するため、スクール事業・地域活動促進を推進する。
 ・ジュニアスポーツの振興に関する事業・・・ユースチーム活動とジュニアユースチームの活動。
 ・県民のスポーツ意識向上に関する事業・・・プロサッカーチーム「モンテディオ山形」の公式試合を開催する。
 ・青少年の健全育成に資する事業・・・J2公式試合の県内小中高校生無料観戦の実施。

◇女子駅伝事業
 ・全国都道府県対抗駅伝競走大会並びに国民体育大会等全国大会等で活躍できる選手の確保・育成するため、各種大会へ選手の派遣や強化合宿を実施する。

成果(どのような状態になったか) 県のスポーツ振興を図ることにより、市民のスポーツ活動への意識を高めた。

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 ... ①	1,064	1,064	1,064	1,064			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	1,064	1,064	1,064	1,064	0	0	主な歳出の内訳	
人件費 ... ②	234	234	310	310	0	0	公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会負担金	1,064
内訳	正規職員(人)	0.03	0.03	0.04	0.04			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	1,298	1,298	1,374	1,374	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	一流の選手と交流を図る中で、市民の競技への参加意欲を高めている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	市民の競技能力の向上を図るうえで、適当であると考えられる。
有効性	③成果の向上余地がないか	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	モンテディオ山形等の活躍によって、県民(市民)の競技への興味関心を高められる。
効率性	④成果を下げずに事業 費を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	競技者や競技団体への支援を行うには事業費削減は困難である。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	県内全市町村が支出する法例外負担金である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	県内全市町村が支出する法例外負担金である。
	⑧官民協働できるか	● できない ○ できる	県内全市町村が支出する法例外負担金である。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	モンテディオ山形等の活躍によって、県民(市民)の競技への興味関心を高められる。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
本市スポーツ振興に協会と実施している事業をもっと活用すべきである。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

協会関係者との情報交換。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
協会との連携強化。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	今後とも積極的に協会と関わりを持ち、協会実施事業を活用することにより、本市のスポーツ振興の一助にすべきである。	所属長評価	今後とも積極的に協会と関わりを持ち、協会実施事業をより活用していく方策を検討すべきである。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	スポーツ指導者活用事業			事務事業コード	332-201-63
総合計画	基本目標	3	ふれあい、学びあい、心をつなぐまち	担当課	社会教育課
	政策名	3	一人ひとりに応じた夢と感動のあるスポーツライフを実現する	担当者	渡辺 光
	施策名	2	新たな活力を生み出す競技スポーツの振興	内線	472
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	一般会計	10款4項11目	社会体育総務事業費	予算コード	01-100411-0200
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	スポーツ基本法で設置が義務付けられているスポーツ推進委員の指導力を向上させ、市民スポーツの普及振興を図る。	事業内容	積極的に各種研修会や実技指導に参加して習得したノウハウを市民スポーツの指導に活用する。(スポーツ推進委員19名、平成27年度末時点)		
対象	市民				
目指す状態	ニュースポーツ・軽スポーツの普及振興を図る。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	スポーツ推進委員数	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込	
			実績	18	19	15					25
説明(算式等)	達成率										
活動指標	指標名称	研修会への参加数と独自研修会の開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画	
			実績	9	13	16				12	
説明(算式等)	達成率		75.0%	108.3%	133.3%						
成果指標	指標名称	県研修会等の受講者数(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標	
			実績	34	29	34				50	
説明(算式等)	達成率		68.0%	58.0%	68.0%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
	スポーツ推進委員の活用状況										
	出前軽スポーツ教室(自主事業)の実施 2教室										
	(萩野地区放課後子ども教室…7回)										
	(本合海地区放課後子ども教室…2回)										
成果(どのような状態になったか)	市民へのスポーツ指導に必要な知識・技術を習得し、スポーツ教室にて研修会で得たものを市民に還元し、市のスポーツ振興に貢献した。										

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費 … ①	601	397	449	500			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	601	397	449	500	0	0	主な歳出の内訳
人件費 … ②	2,733	3,670	2,942	1,780	0	0	スポーツ推進委員報酬	449
内訳	正規職員(人)	0.35	0.47	0.38	0.23			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	3,334	4,067	3,391	2,280	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	市民へスポーツを普及する活動を行い、生涯スポーツの推進を図っている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	用具の整備や指導者の活用により、市民のスポーツ意識の高揚を図っている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	研修会等で得た専門的な知識をより多くの市民に還元する機会が求められる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	委員の活動に対する報酬が事業そのままであり、削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	より積極的に活用するための事務局機能について検討が必要である。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	教育事務所が地区協議会を事務局を担い、管内における諸会議や研修会等を開催している。
	⑧官民協働できるか	○ できない ● できる	企業の地域貢献と合わせ、スポーツイベントやレクリエーションの企画・開催等の可能性も考えられる。
	⑨地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	少子高齢化が進む中、市民のいきがいつくりや健康増進、健康寿命の延長に貢献している。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
市民ニーズに応じたプログラムの開発・実施に必要な用具等の購入や指導者育成等、スポーツ全般を推進するための環境整備が必要

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

定期的な会議の開催や地区・県レベルの研修会等への参加を通し、自己研鑽に務めている。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
健康・福祉担当課等と連携し、推進委員の活動できる機会の設定できるように努めていく。推進委員の指導力向上につながるような研修機会の設定や情報の収集をより充実させる。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	地域スポーツ活動の振興と組織づくりを図るため、行政とのみならず、総合型スポーツクラブや地域との連携の中で事業の企画・立案、実施できるような体制づくりをコーディネートしていく。	所属長評価	地域スポーツ活動の振興と組織づくりを図るため、行政とのみならず、総合型スポーツクラブや地域との連携の中で事業の企画・立案、実施できるような体制づくりをコーディネートしていく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名		克雪技術研究協議会事業			事務事業コード	411-501-63	
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち			担当課	社会教育課
	政策名	1	冬の快適な暮らしを実現する			担当者	東海林美紀
	施策名	1	克雪対策の推進			内線	461
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業		
法令根拠							
条例・要綱等							
予算・事務事業名	一般会計	10款4項1目	職員給与費		予算コード	01-100401-0100	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)						
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)						
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 45 年度 ~ (期限の定めのない事業)						

2. 事務事業の概要

目的	雪害克服のために、各種の実験研究機関、団体相互の連絡、連携を図り、雪害克服の方法技術を促進することを目的とする。	事業内容	克雪技術研究協議会を開催し、研究者との委託事業により、将来に向けた克雪への研究報告書を受け、加盟団体と協議を行う。			
対象	克雪技術研究協議会(県民)					
目指す状態	雪害を克服する方法を促進し、産業の振興、生活の安定に役立てる。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	1	1	1				
活動指標	協議会の加盟団体数		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	46	46	46				-
成果指標	報告書の提供団体数		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	123	119	123				-
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
成果(どのような状態になったか)	研究報告書を作成し、会員他関係団体に配布した。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①							歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	0	625	619	619	0	0		
内訳	正規職員(人)		0.08	0.08	0.08			
	1人当たり単価		7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	0	625	619	619	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	防災技術センター新庄支所を中心に、克雪技術研究を実施している。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	克雪は県民生活の安定に必要な不可欠である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	限られた事業費の中で、最大限取り組んでいる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	会員からの負担金で事業を行っている。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	最小限で実施している。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	役割分担し実施している。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	協議会の会員となっている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	県民の課題解決のために協議会が設立されている。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
事務局として事業を実施しており、現在のところ特に課題はない。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	県内全市町村(1町除く)を主な会員として構成している協議会の事務局である。今後も防災技術センター新庄支所を中心に、克雪技術研究を実施し雪害克服の方法技術を促進していく。	所属長評価	県内全市町村(1町除く)を主な会員として構成している協議会の事務局である。今後も防災技術センター新庄支所を中心に、克雪技術研究を実施し雪害克服の方法技術を促進していく。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 〆千

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				